

令和 7 年度

契 第 38 号

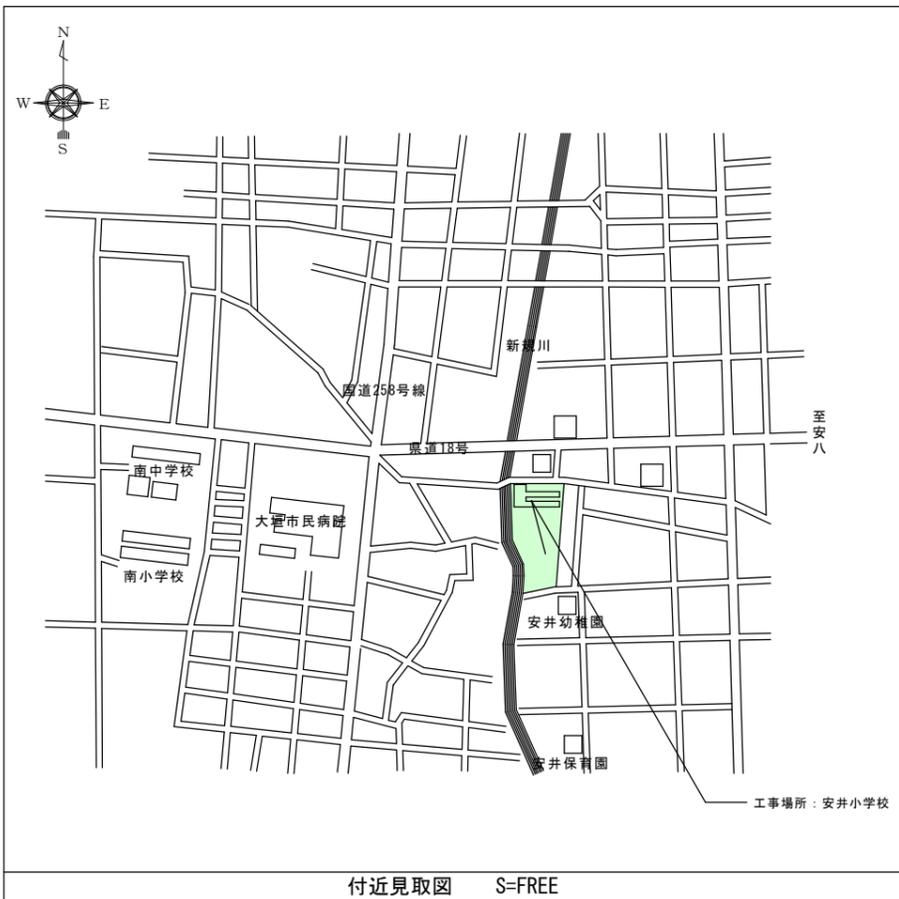
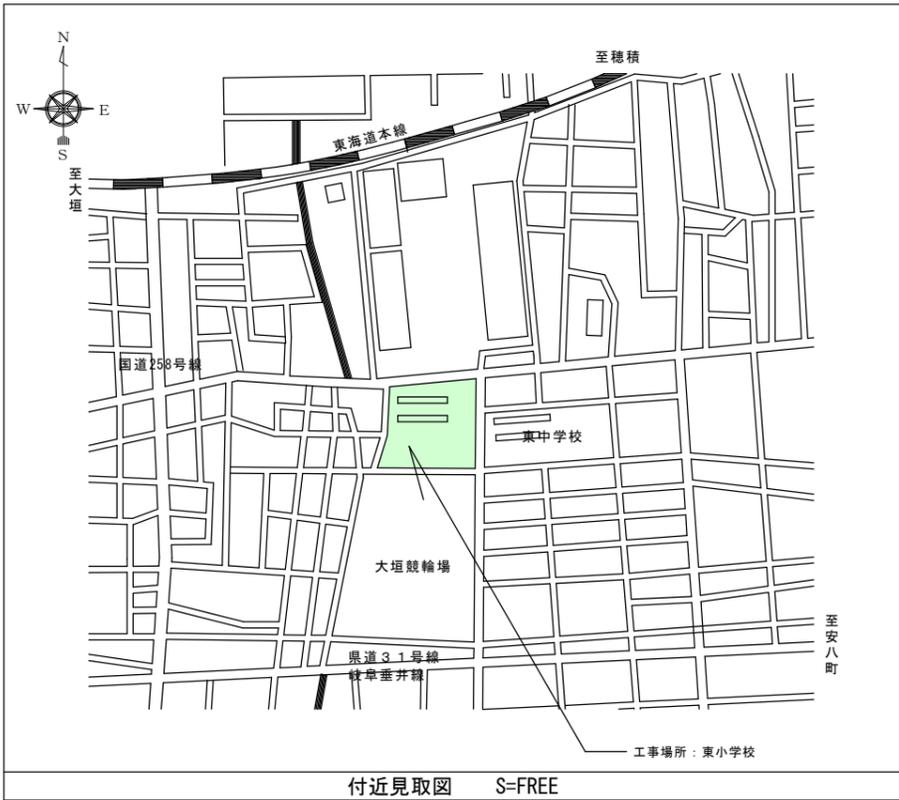
東小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事設計書

大垣市 三塚町 地内 ほか

大 垣 市

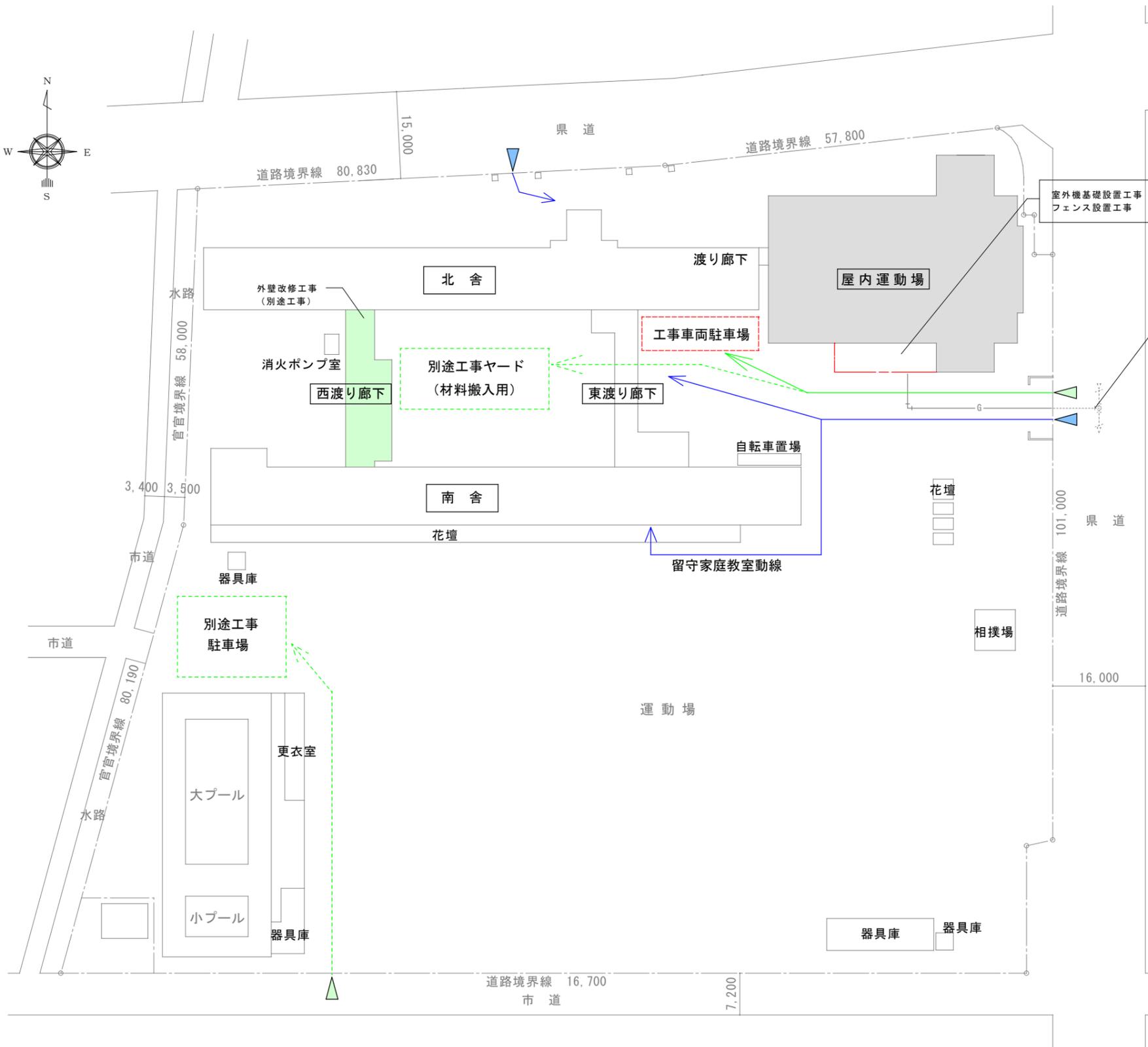
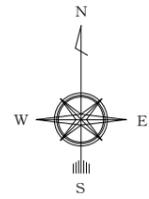
提出書類表

提出書類表		項目	
契約書類	R06.4~	<ul style="list-style-type: none"> ★着工届 ★現場代理人・(専任)主任技術者・監理技術者補佐届・(専任/特例)監理技術者届 ※(専任)主任技術者・監理技術者補佐届は、資格要件のわかる書類添付 ※(専任/特例)監理技術者は、監理技術者有資格者証の写しを添付 ※現場代理人届に直接的な雇用関係がわかる書類、その他の各届出書に直接3ヶ月雇用のわかる書類を添付(経歴書または健康保険証等の写し) ★工程表(ネットワークと出来高予定を含む) ※契約後10日以内 請負代金内訳書 ※発注者が指示した場合に限る 約款第3条 各種工事保険証書の写し ※火災保険、建設工事保険 約款第58条 	
	完成時	<ul style="list-style-type: none"> ★完成届 ★出来形届書 ※支払いがある場合にその都度 ★請求書 完成写真(着工前・完成) ※トラングペーパー付(完成写真の方に色付け、撤去部分:青、新設部分:赤) 写真撮影方向を示す図面添付 	
完成成果書類	赤ファイル	<ul style="list-style-type: none"> 1 完成図 2 施工図 3 保証書・取扱説明書 ※保証書の保証開始日は、引渡し日(完成検査合格日) 4 現況調査報告書(現場着手前の周辺道路、水路、境界構造物、KBM等を調査し、現況写真を添付) 5 家屋調査報告書(事前・事後) ※別添付可 	
	青ファイル(補助工事は灰ファイル)	<ul style="list-style-type: none"> 1 完成写真(着工前・完成) ※トラングペーパーなし 2 工事写真 <ul style="list-style-type: none"> ・工種別写真(着工前・中・完成) ・安全管理状況写真 ・構架・掲示写真(建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、下請負人に対する通知、建退共制度事業主の現場構架、緊急時連絡票、作業主任者選任表示板、建基法による確認表、解体工事業者登録票、石綿事前調査結果、石綿使用した建築物の解体工事のお知らせ、再生資源利用促進計画書、工事表示板(W900×H1200)) ※全体および拡大写真 3 工程表 <ul style="list-style-type: none"> ・全体工程表、実施工程表、月間工程表、週間工程表(休日、夜間作業届を兼ねる) 4 施工計画書 <ul style="list-style-type: none"> ・総合施工計画書 ・工種別の施工計画書(施工要領書) 5 施工体制関係書類 <ul style="list-style-type: none"> ・施工体制台帳 ※県第18号様式 ・施工体系図 ※県第19号様式 ・作業員名簿 ※県第18-2号様式 ・主任(監理)技術者の資格要件を証明する書面、雇用を証明する書面 ・契約書の写し(元請け、下請け全て) 6 産業廃棄物関係書類 ※廃棄物処理法施行令第6条の2 <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理委託契約書(写し) ・処理業者(収集・運搬・処分)の許可証(写) ・中間・最終処分場までの運搬経路図、写真 ・産業廃棄物管理表(マニフェスト票) ※提示のみ 7 再生資源関係書類(COBRIS) ※請負代金100万円以上 <ul style="list-style-type: none"> ・再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書 ・再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書 ※提示のみ 8 出来形管理 <ul style="list-style-type: none"> ・月毎の工事履行報告書(出来形率、工程表、写真) ※補助工事または工期6ヶ月超の工事 ・工種別の出来形管理資料(出来形管理図、測定結果一覧表) 9 品質管理 <ul style="list-style-type: none"> ・工種別の品質管理資料(品質管理図、基準値対比表、写真) ※建物位置・高さ、杭芯ズレ、基礎寸法、鉄筋外観、鉄骨建起し、内装墨位置等 ・工種別の試験結果報告書 ※コンクリート強度試験、鉄筋(鉄骨)超音波探傷試験、塗膜厚測定試験、VOC環境測定試験 10 使用材料 <ul style="list-style-type: none"> ・材料承諾書(全ての材料) ※材料資料(メーカーカタログ、大臣認定書、JIS規格書、コンクリート配合計画書等) ※設計数量と計画数量の対比表 ・出荷証明書(メーカー出荷証明書、納品書、ミルシート等) 11 打合せ記録 <ul style="list-style-type: none"> ・打合せ記録簿(定例会議、個別会議) ・設計図書の疑義による協議書および指示書 12 安全管理・安全教育 <ul style="list-style-type: none"> ・道路使用許可等の関係機関の許可書の写し ・使用機械・工具・車両等の点検等、過積載防止の記録簿 ※提示のみ ・安全教育実施報告書、安全巡視、TBM、KY等の実施記録、新規入場者教育の実施書 ※提示のみ 13 建設業退職金共済制度関係 <ul style="list-style-type: none"> ・建設業退職金共済制度掛金収納書 ・建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表 ※提示のみ 14 工事保険関係 <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険、建設工事保険証券の写し(保険の範囲がわかる約款、カタログ等も添付) 15 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施活動 <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況報告書 ※実施した場合 ※工期短縮の工夫、品質向上の工夫、地域社会や住民に関する貢献等 16 各種法令等に基づく書面関係 <ul style="list-style-type: none"> ・解体工事等に係る調査結果説明書 (大気汚染防止法第18条の15第1項) ・特定粉じん排出等作業結果報告書 (大気汚染防止法第18条の23第1項) ・休日取得計画書、休日取得実施書、週休2日制工事(現場閉所)報告書 (大垣市発注の週休2日制工事要領第5条) ・工事に必要な官公署等への届出書類 17 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・監督員通知書 ・工事検査報告書(社内検査、建築課検査) ・上述No.1~16以外の工事書類(提出書、報告書、CORINSほか) 	
	<p>(1)上表の完成成果書類の各書類は、原則、紙面で市指定の表紙(指示・承諾・協議・提出・報告書)を付して、2部(正・副)提出し、決裁された1部(正)を完成成果品とすること。</p> <p>(2)完成成果書類の電子データは、完成時にまとめてCD又はDVD(本体共)にて提出すること。 ※CD・DVDは、完成成果書類の赤ファイルに、2穴付き不織布ケース(ワタライ FCD-FRBD50W)で同梱すること。 ※最新のパターンファイルを適用したウイルスソフトでスキャンしたものに限り。</p> <p>(3)完成成果書類は、背幅伸縮ファイル(ワコ F-V90 サイズ:A4-S)に上表の赤ファイル、青(灰)ファイル別に綴り、市指定の表紙を貼ること。</p> <p>(4)完成成果書類のファイルが5冊を超える場合は、市指定の収納箱に入れて提出すること。</p> <p>(5)★印の書類は、https://www.city.ogaki.lg.jp/000007329.htmlに掲載。</p>		



工事区分表			
適用	項目	建築調	備考
<input type="radio"/>	直接仮設	<input type="radio"/>	平面図による
<input type="radio"/>	関係官公署への申請手続	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	関係官公署の各種負担金	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	内部足場(軽微なものは除く)	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	外部足場	<input type="radio"/>	
	給・排水設備の工事完了後の検査手数料		
<input type="radio"/>	設備機器設置用のコンクリート基礎	<input type="radio"/>	特記無き限り建築工事
<input type="radio"/>	設備機器設置用のフェンス(防音、目隠し、メッシュ)	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	設備機器設置用の70x70用孔開及び箱入	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	設備機器設置用の70x70及び埋戻	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	室外機設置用の鋼製架台	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	外壁支持金物	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	設備配管貫通穴あけ	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	同上の配管後開口部ふさぎ	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	同上の配管廻のシーリング	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	一般天井の設備機器取付用穴開	<input type="radio"/>	
	設備機器用取付用の壁及び天井の補強		
	室内機取付用の壁又は天井の架台		
<input type="radio"/>	室内機設置用の鋼製架台	<input type="radio"/>	
	点検用通路の配管上を通行するための歩廊	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	天井(軒天共)の解体復旧(脱着を含む)	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	上記に伴う照明等機器脱着	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	天井及び床の点検口	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	空調設備用の一般電動機	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	同上1次側電源工事	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	同上2次側電源工事	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	空調設備自立電源盤から室内機、その他負荷への配線	<input type="radio"/>	
	既設室外機の脱着	<input type="radio"/>	
	カーテン・暗幕の更新		
<input type="radio"/>	フェンス	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>	舗装工事	<input type="radio"/>	
	側溝		
	車止め		
<input type="radio"/>	外部倉庫解体	<input type="radio"/>	
	点字ブロック		
	既存樹木撤去		

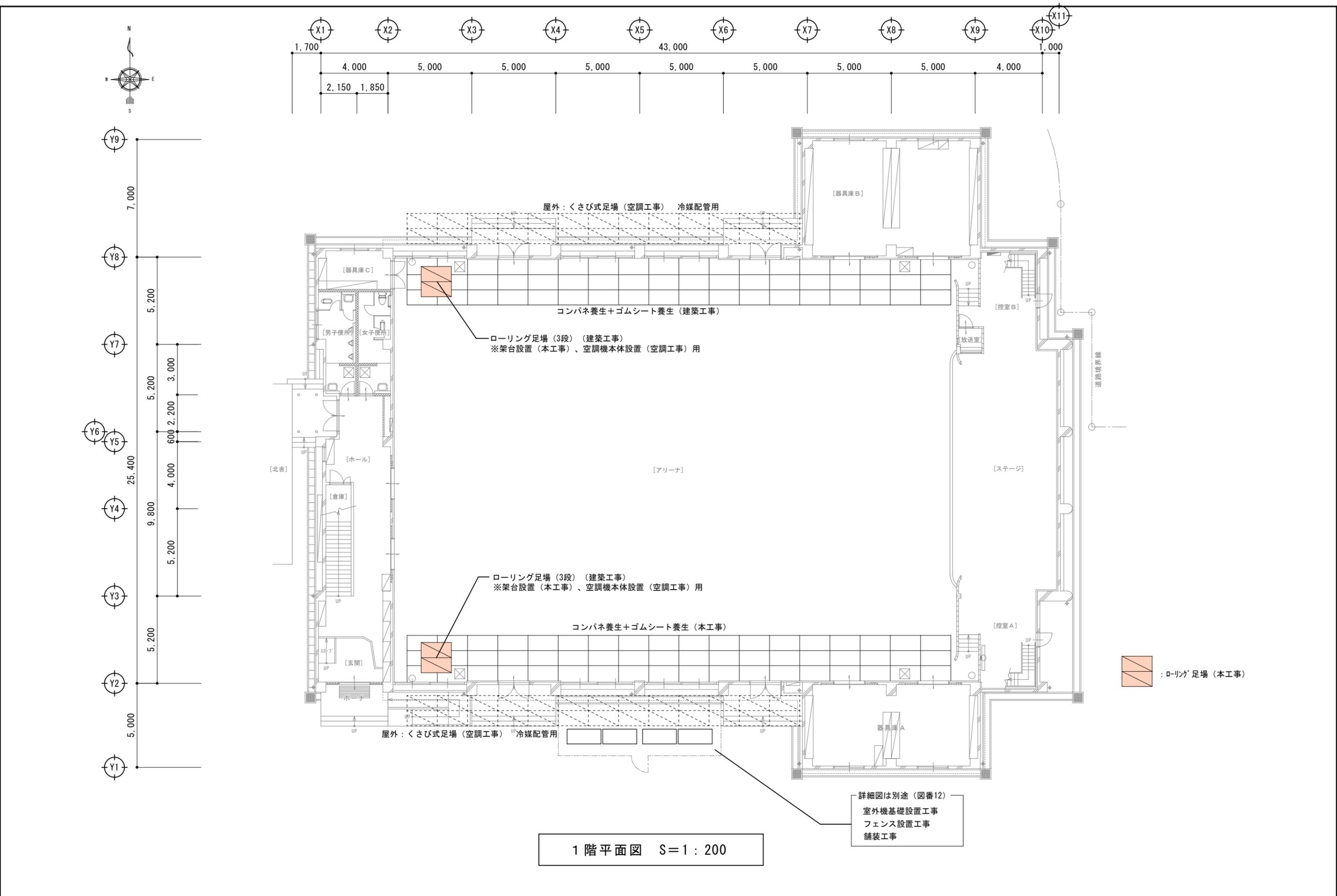
※電気工事は空調工事に含む



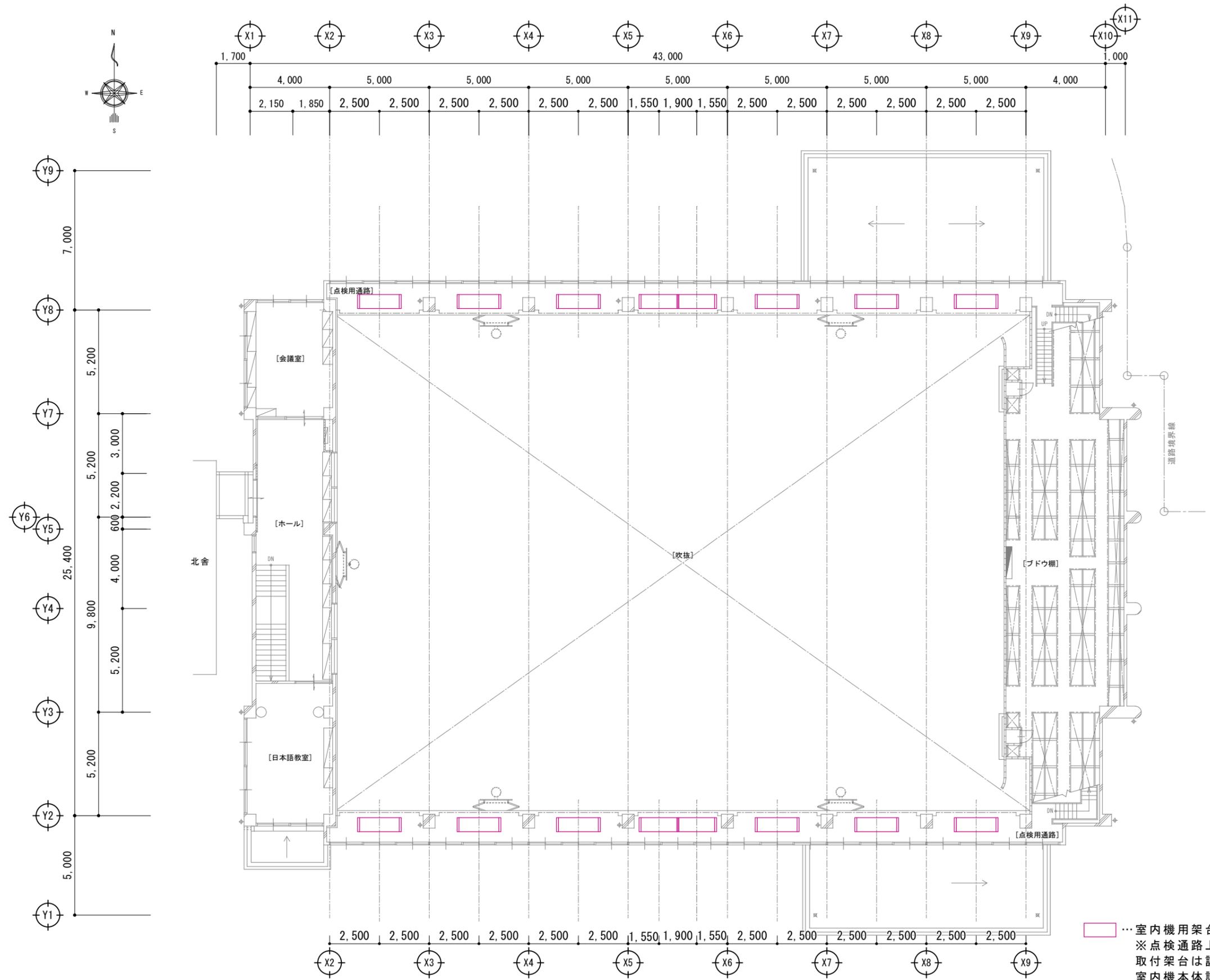
- : 施設利用者動線
- : 工事車両進入動線
- ▶ : 工事関係者出入口
- ▶ : 施設関係者出入口
- : ガードフェンス H1,500 (本工事)

配置図兼仮設計画図 S=1/800

- ・本工事における屋外足場設置工事は、空調工事受注者にて設置する
- ・工事車両駐車場は、東渡り廊下の東側北面とし、南舎北側は施設利用者駐車場とすること
- ・必要に応じて、カーコン・バーにて工事車両動線の区画を行うこと
- ・別途工事の車両乗り入れもあるため、必要に応じて交通誘導員を配置すること

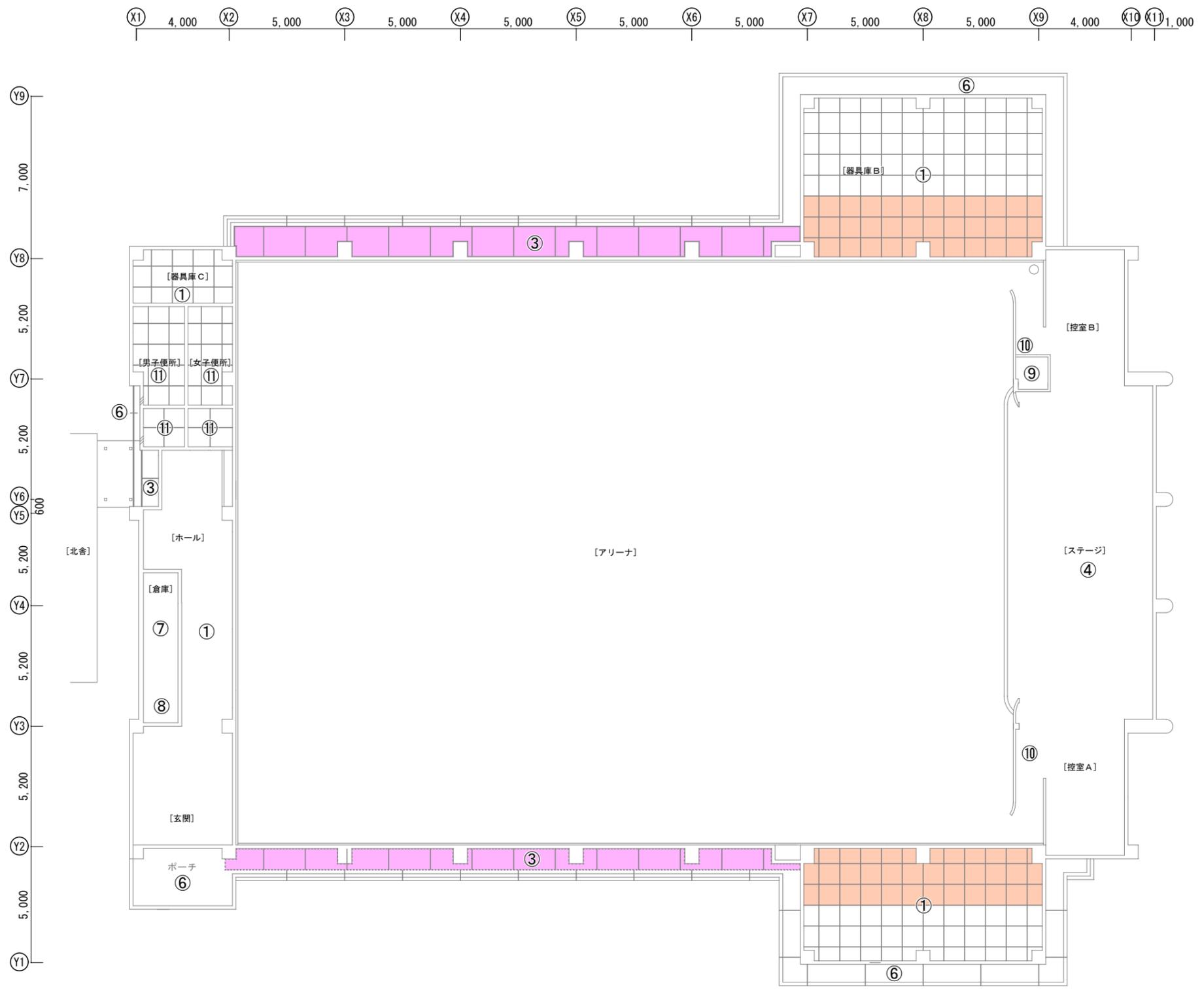


1階平面図 S=1:200



...室内機用架台設置 (本工事)
 ※点検通路上に設置
 取付架台は詳細図 (図番8, 9) 参照
 室内機本体設置 (空調工事)

点検用通路平面図 S=1:200



凡例 (既設)	
①	化粧ガラスボード t=9.0 塩ビ廻り縁
②	ケイカル板 t=6.0 VE塗装 塩ビ廻り縁
③	ケイカル板 t=10.0 アクリルシシ 塩ビ廻り縁
④	鉄骨ぶどう棚 SOP
⑤	鉄骨 耐火化粧野地板現し SOP
⑥	コンクリート打放し アクリルシシ吹付
⑦	合板型枠コンクリート打放し
⑧	ベニヤ化粧型枠コンクリート打放し 吹付タイル (内部)
⑨	シナ合板 t=6.0 SOP
⑩	シナ合板 t=4.0 SOP
⑪	ケイカル板 t=6.0 VE 塩ビ廻り縁

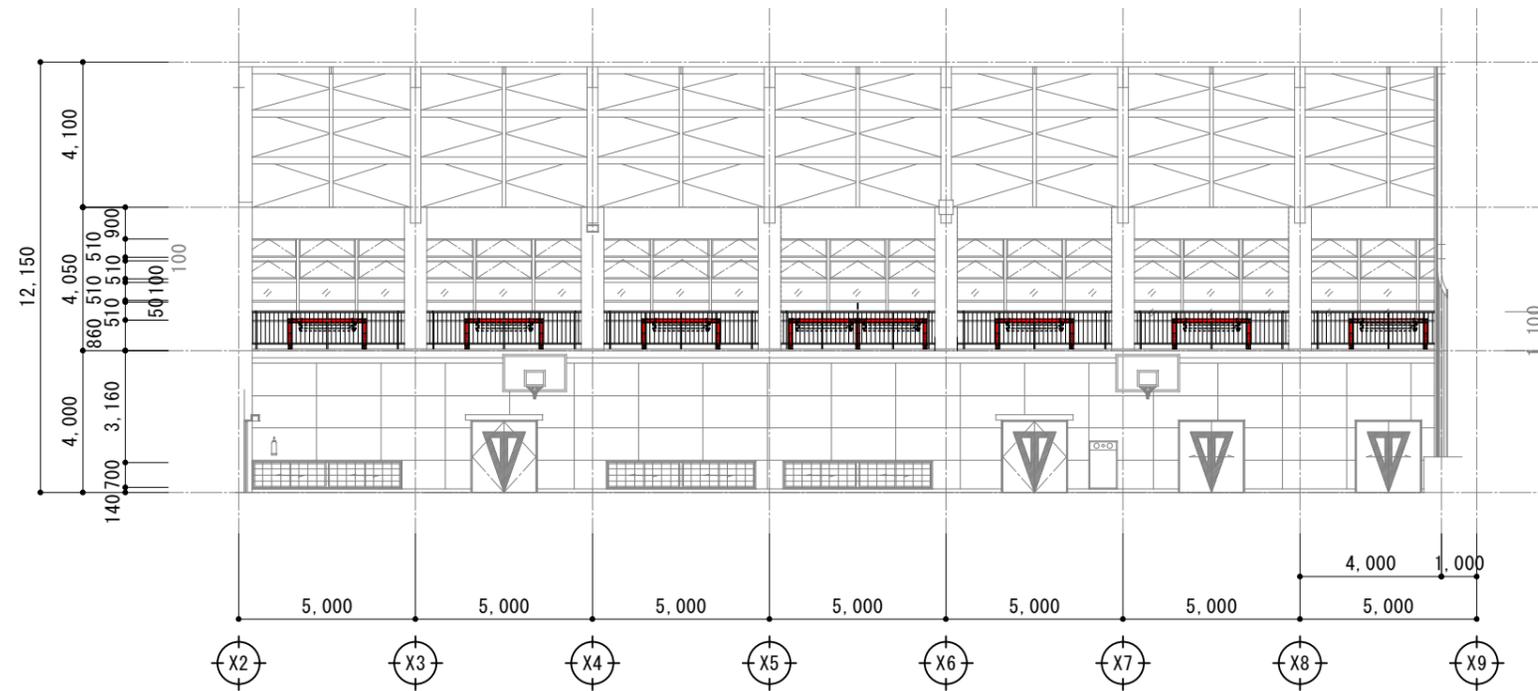
: 7ス^ハスト含有建材 (下地調整材)

: 既設ケイカル板撤去 (天井LGS、塩ビ廻り縁共)
 天井LGS、塩ビ廻り縁 新設
 ケイカル板 目透かし t=10.0 EP 新設
 ※軒天仕上の撤去・復旧に係る足場の設置は、空調工事とする

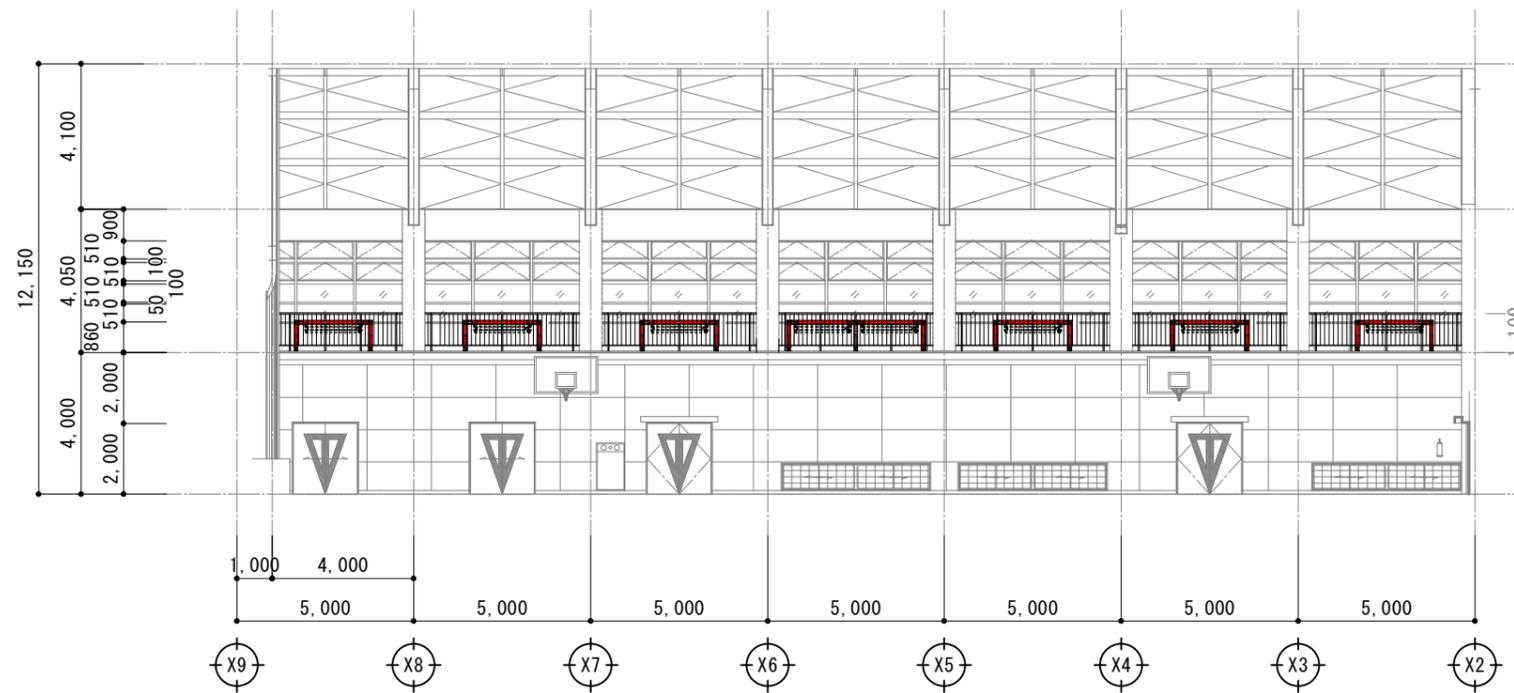
: 化粧ガラスボード t=9.0 撤去 (天井LGS、塩ビ廻り縁共)
 天井LGS、塩ビ廻り縁共新設
 化粧ガラスボード t=9.0 新設
 ※撤去・復旧に使用する足場は脚立足場とし、設置・撤去は、建築工事とする

※本工事の解体工事にて撤去する建材は7ス^ハスト分析調査済 (非含有)

1階天井部図 S=1:150

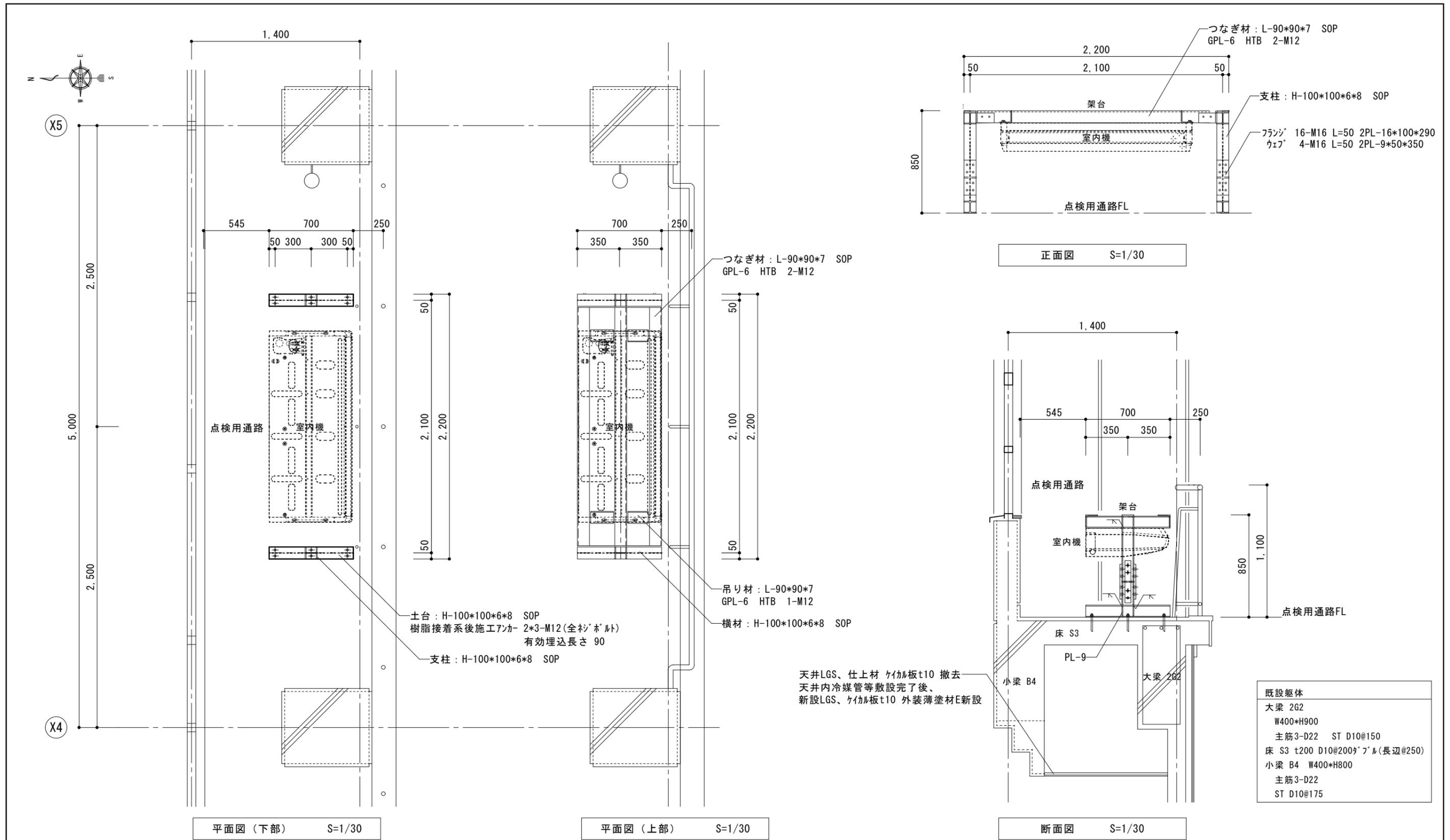


アリーナ展開図（北面） S=1:200

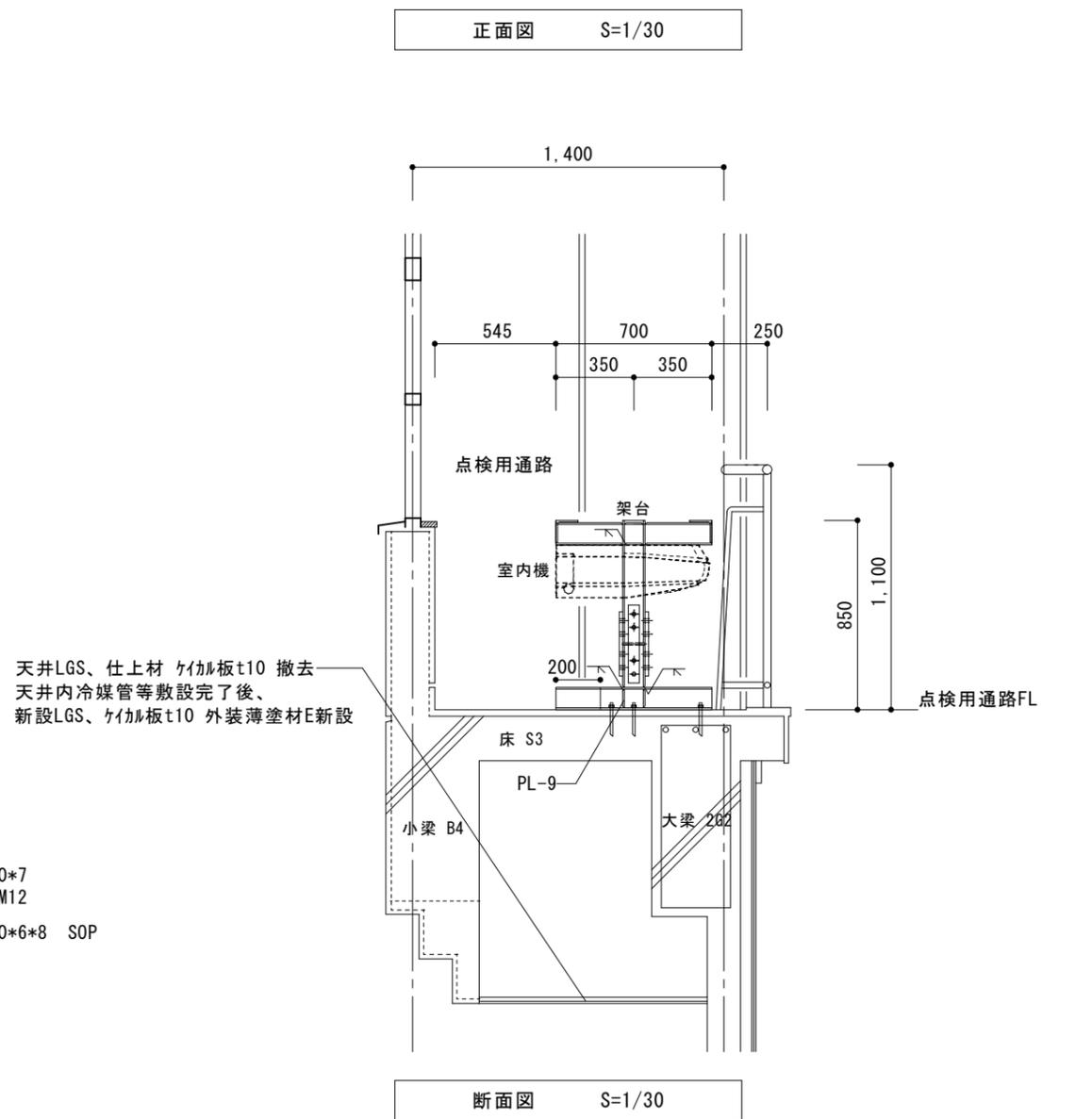
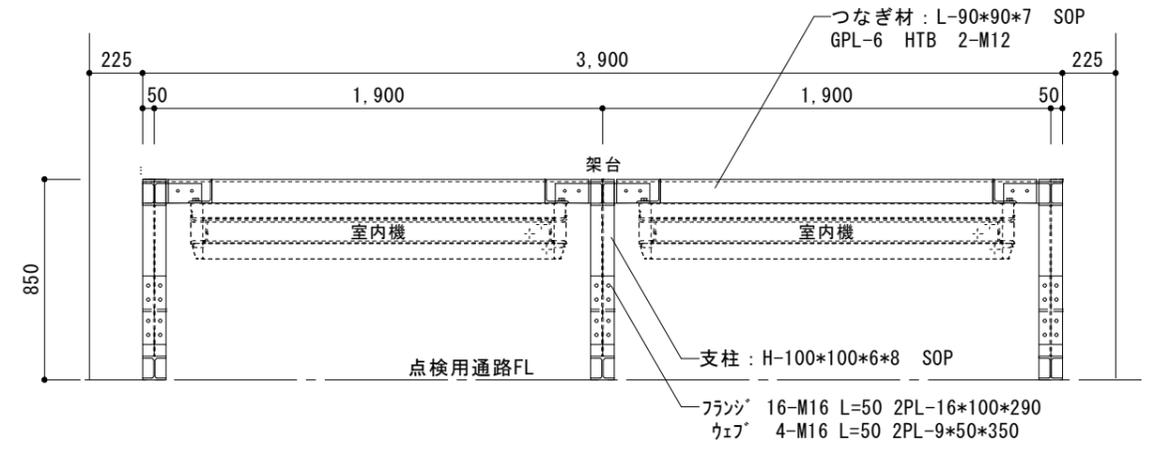
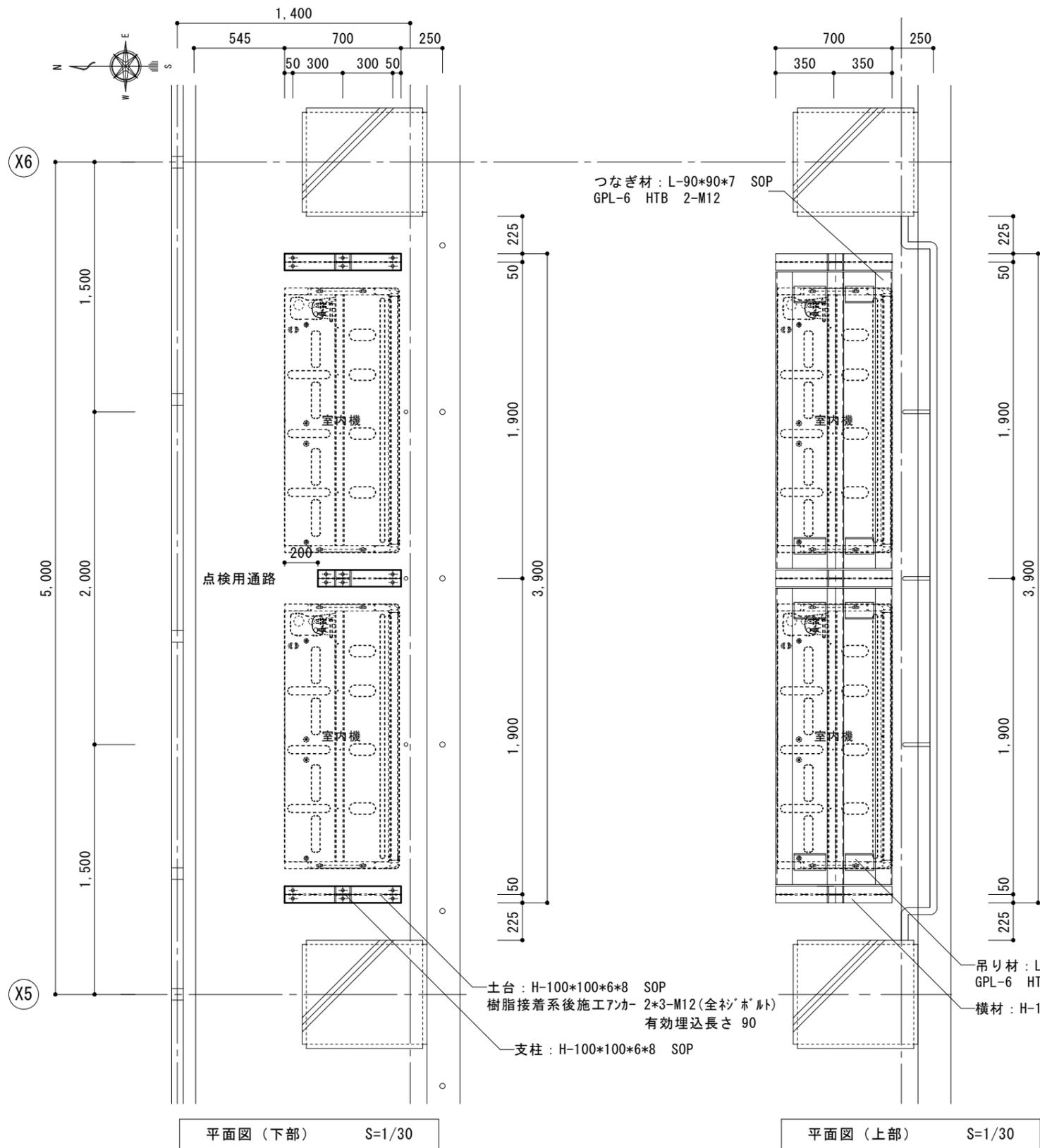


アリーナ展開図（南面） S=1:200

- : 室内機用架台 単独架台12台 W2200×D700×H850 (点検用通路の手摺内側に設置)
- : 室内機用架台 2連架台 2台 W3900×D700×H850 (点検用通路の手摺内側に設置)
- ※上記空調機本体は空調工事にて取付



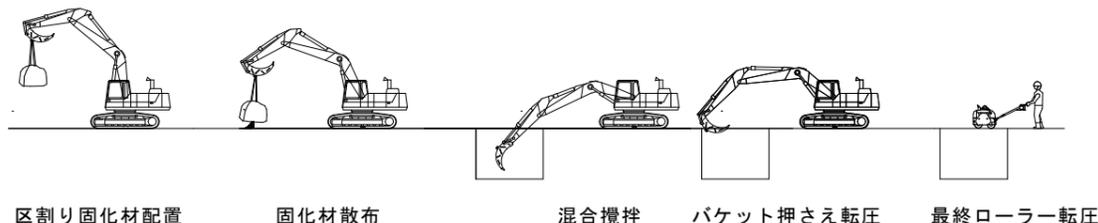
鋼材	SS400		※架台台数 単独架台 12台 2連架台 2台
HTB	S10T		※室内機本体設置は別途空調工事
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする 穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400		
塗装	鉄部 SOP		



表層改良工法特記仕様書

1 工事概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材とをバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



※施工状況によってはバケット押さえ転圧のみとなる。

2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（（財）日本建築センター）による。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容（改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等）
- (2) 工程表
- (3) 施工方法（仕様固化材、配合量等）
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図書による。
- (2) 改良体の設計基準強度：Fc=300kN/m²
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4. 配合管理

(1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム溶出抑制タイプのセメント系固化材とする。

$$F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf}$$

$$q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot V)$$

$$q_{ul} = q_{uf} / d_1$$

F_c : 設計基準強度 (kN/m²)
 m : 相関係数=1.3
 V : 変動係数=0.45
 d_1 : 現場/室内強さ比(表-1)

表1 (現場/室内) 強さ比の一例

固化材の添加形式	改良対象土	攪拌方法	(現場/室内) 強度比
粉体	軟弱土	スタビライザ	0.5~0.8
		バックホウ	0.3~0.7

$$q_{ul} = \{300 / (1 - 1.3 \times 0.45)\} / 0.5 = 1450 \text{ kN/m}^2$$

推定配合量 80kg/m³ (最終的には配合試験により決定する)

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工
 - 改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良材を散布する。
 - 混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
 - 改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
 - 施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
 - 施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

施工過程における管理方法は次の通りとする。

- (1) 固化材散布量
 - マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
- (2) 改良厚さ
 - 混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
- (3) 混合程度
 - 固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

8 報告

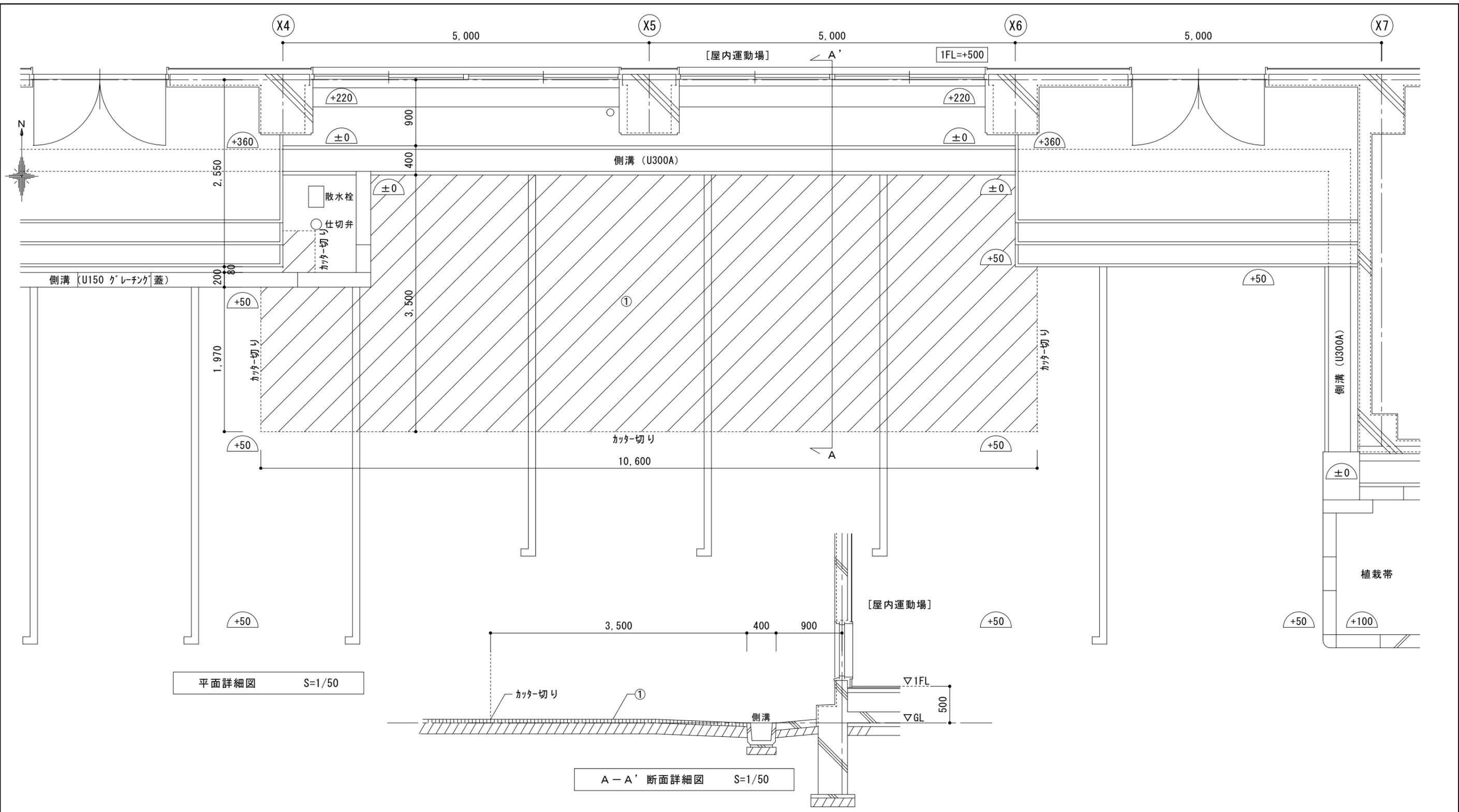
工事完了後、次の事項について報告書をまとめて2部を監督員に提出する。

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
- (3) 管理試験結果

9 管理試験

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - 1) 現場採取供試体
 - 3ヶ所から改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
 - 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - 配合計画段階で六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計画説明書）を提出する。
 - 試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土壌の六価クロム溶出試験（環境庁第46号（土壌汚染に係る環境基準）による。）
 - 検査攪拌数、検査攪拌層、基準値は下記のものとする。

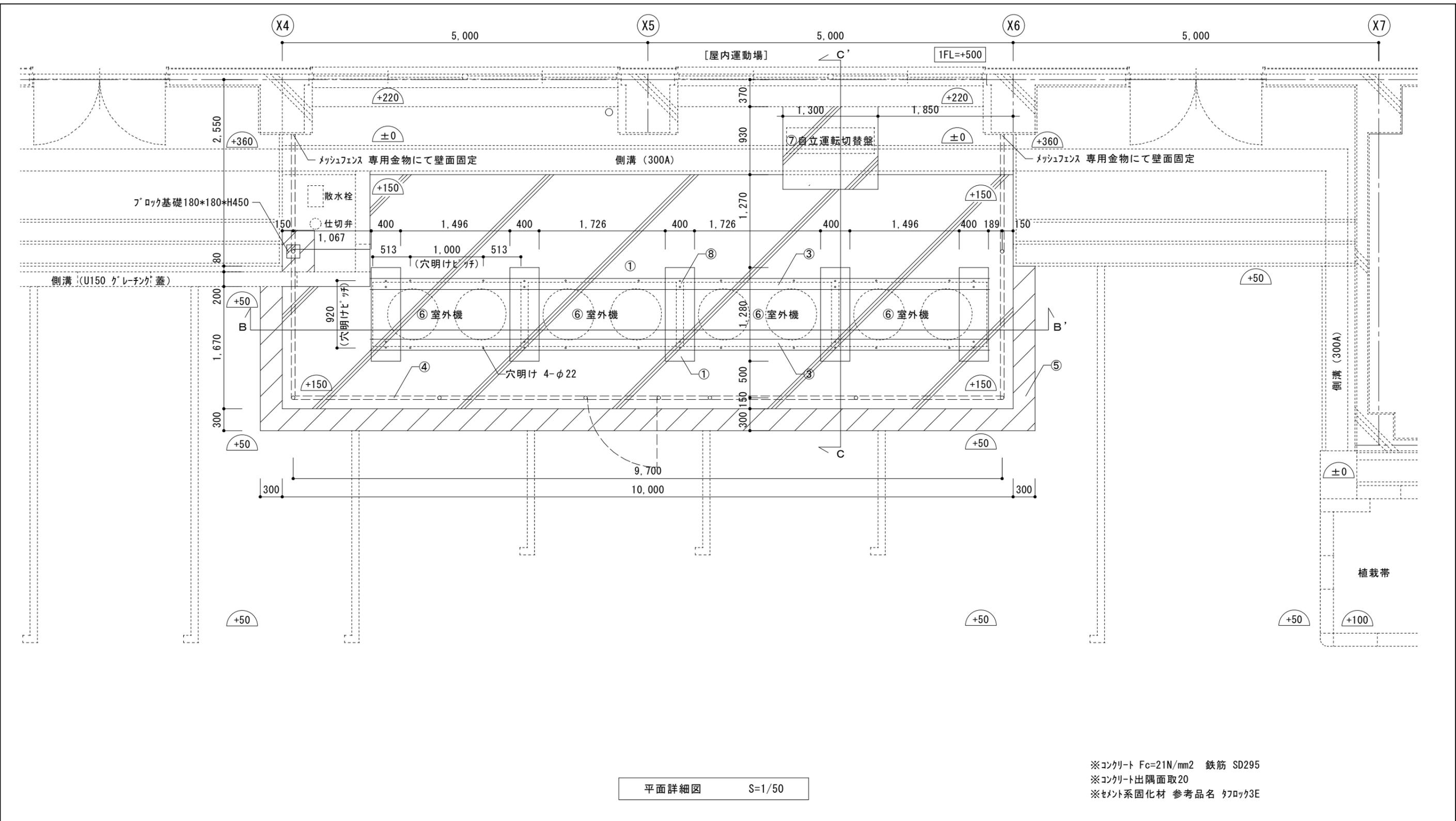
検体数	1検体
対象層	設計対象層 盛土層(粘性土)
基準値	0.05(mg/リットル)以下



平面詳細図 S=1/50

A-A' 断面詳細図 S=1/50

凡例																	
符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位
①		アスファルト舗装 t50 (カッター切り)	撤去	34.7	m2												

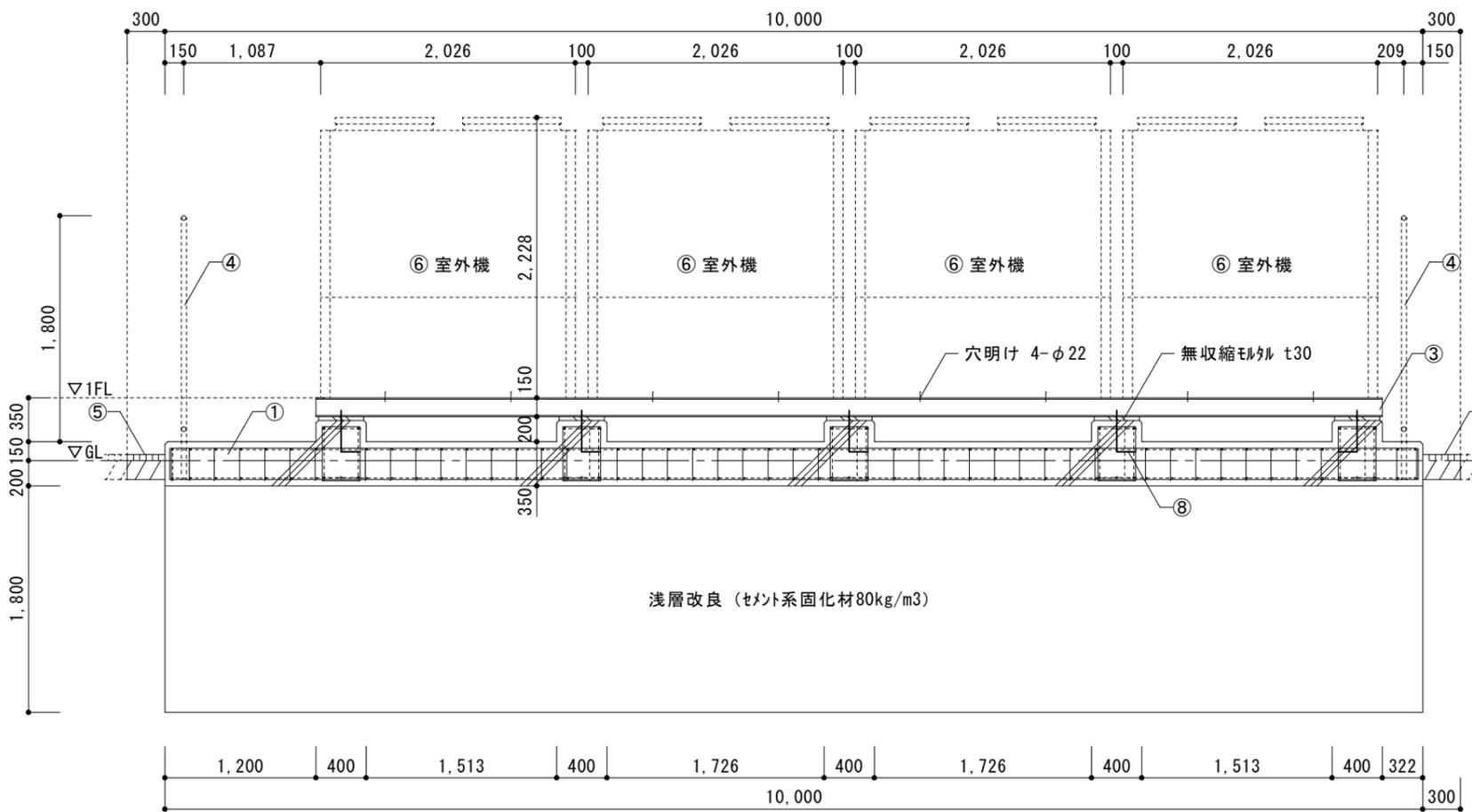
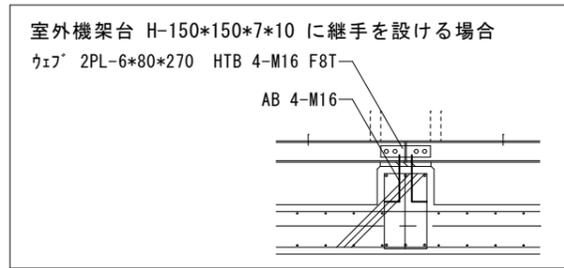
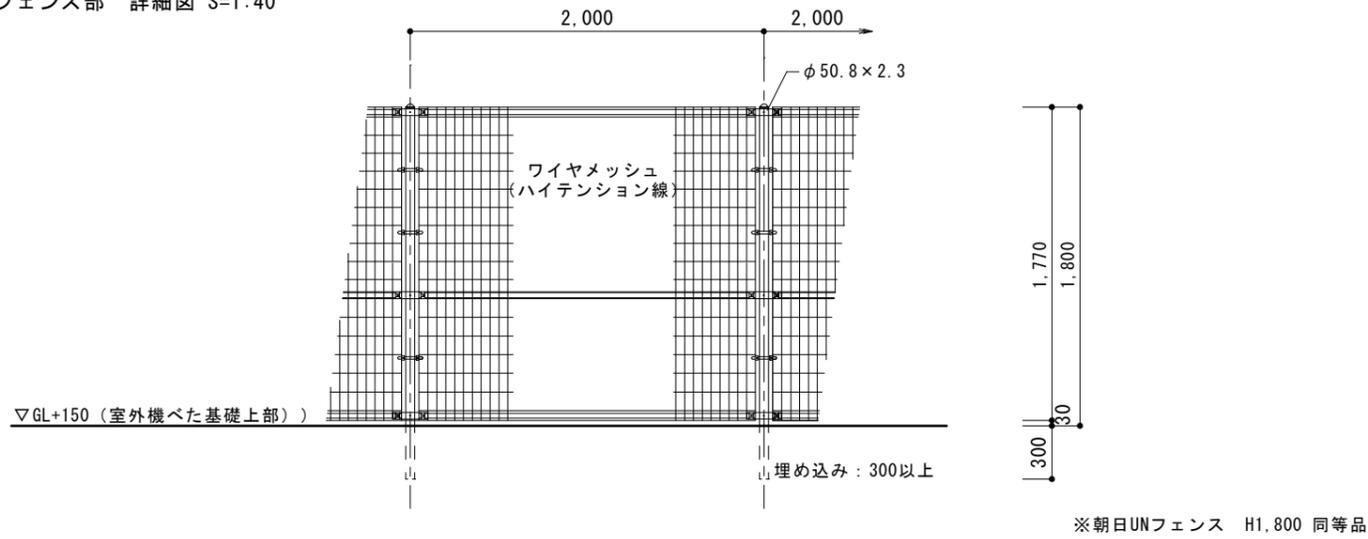


平面詳細図 S=1/50

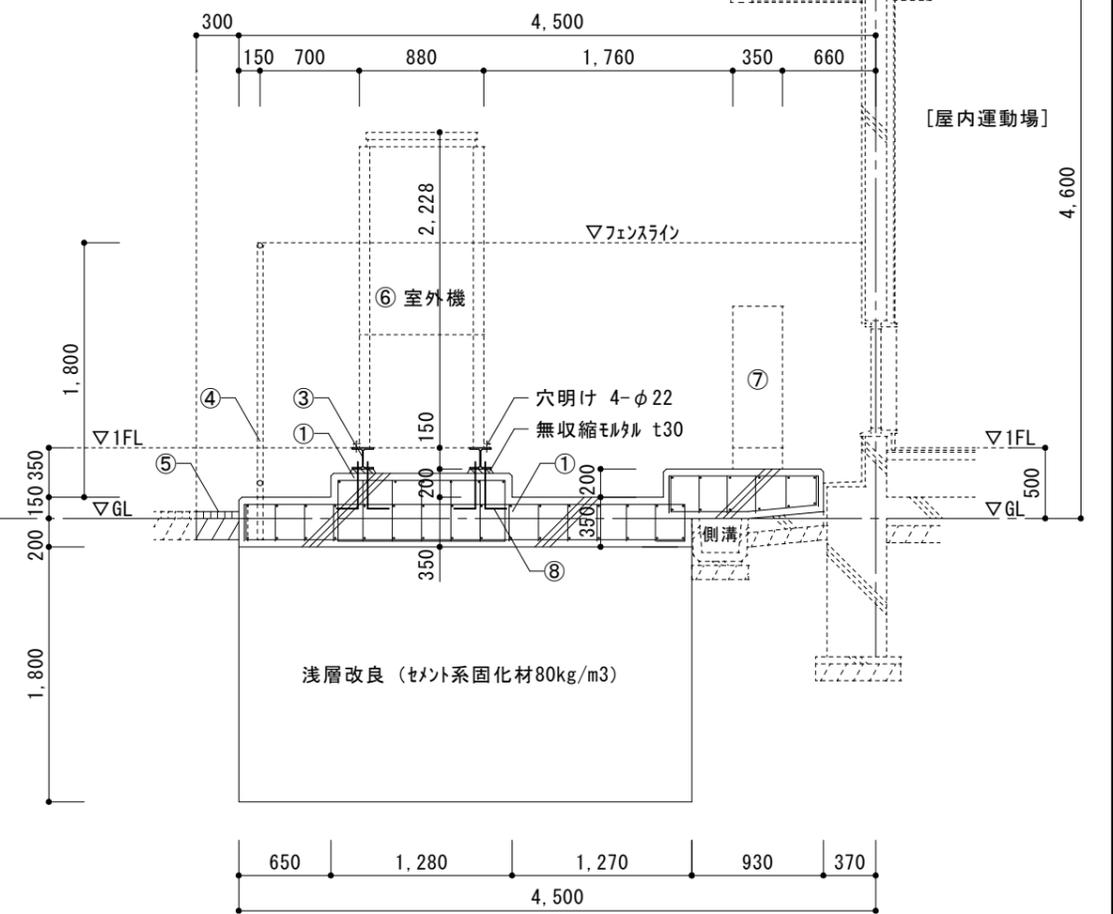
※コンクリート Fc=21N/mm² 鉄筋 SD295
 ※コンクリート出隅面取20
 ※セメント系固化材 参考品名 タワック3E

凡例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①	[斜線]	コンクリート基礎 べた基礎部 t350 鉄筋D10@200クロス*フル	30.2	m ²	⑤	[斜線]	アスファルト舗装復旧 t50 (密粒度アスコンA-5-15)	4.5	m ²					
		梁形部 上下主筋 3-D13 ST D10@200	5	ヶ所			⑥	室外機 (別途空調工事)	4	台				
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴明け 室外機固定穴明け	2	ヶ所	⑦		自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台					
④	[メッシュ]	メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日スチール工業(株) エンフェンス)	15.0	m	⑧		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所					
		一部 ブロック基礎 180*180*H450 片開きフェンス扉 W1000 回転施設+南京錠	1	ヶ所										
												③室外機設置位置用の穴あけについては、空調工事業者との協議による		

ネットフェンス部 詳細図 S=1:40



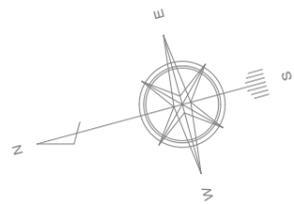
B-B' 断面詳細図 S=1/50



C-C' 断面詳細図 S=1/50

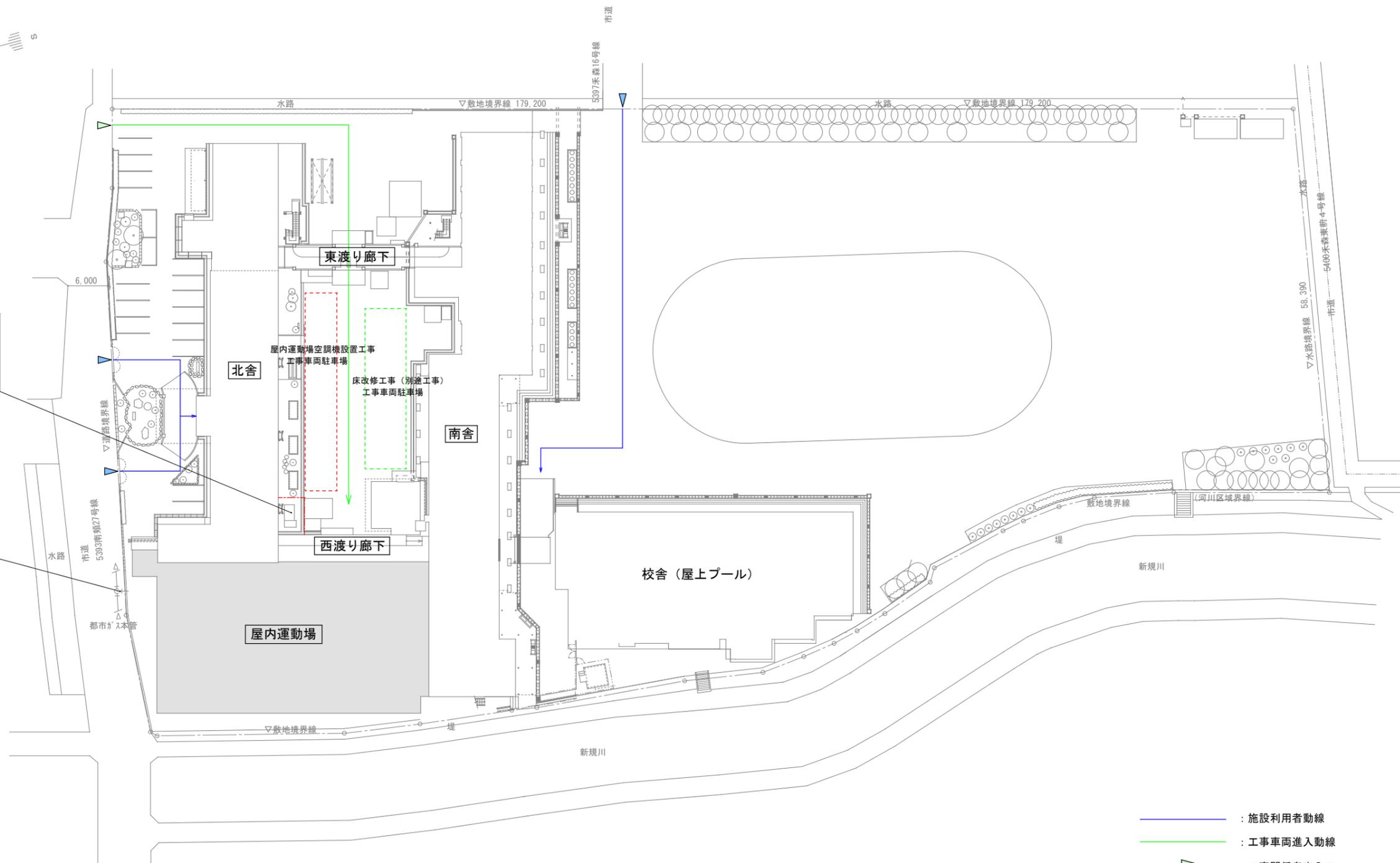
凡例

符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 べた基礎部 t350 鉄筋D10@200クロスパツル	30.2	m2	⑤		周囲アスファルト舗装復旧 t50 砕石C-40	4.5	m2					
		梁形部 上下主筋 3-D13 ST D10@200	5	ヶ所	⑥		新設 室外機 (別途空調工事)	4	台					
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴明け 室外機固定穴明け	2	ヶ所	⑦		新設 自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台					
④		メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日スチール工業(株) エンフェンス)	15.0	m	⑧		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所					
		片開きフェンス扉 W1000 回転施錠+南京錠	1	ヶ所										
												③室外機設置位置用の穴あけについては、空調工事業者との協議による		



室外機廻り詳細図 (図番27参照)
 既設農機具倉庫撤去工事
 校舎室外機用フェンス撤去
 室外機用基礎設置工事
 新設室外機用フェンス設置工事

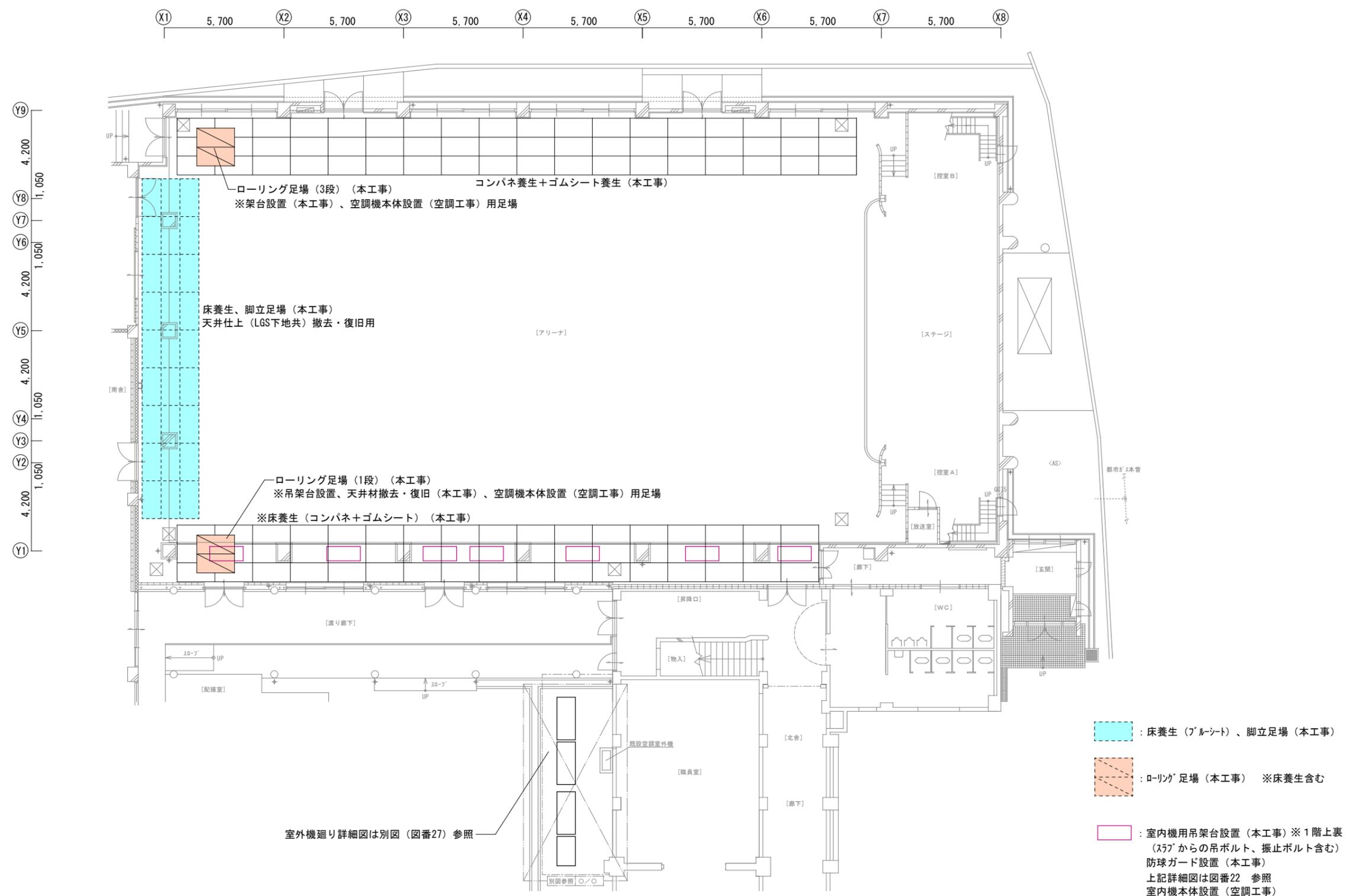
既設引込管 (空調工事)



- : 施設利用者動線
- : 工事車両進入動線
- ▶ : 工事関係者出入口
- ▶ : 学校関係者出入口
- - - : ガートフェンス H1,500 (本工事)

配置図兼仮設計画図 S=1/800

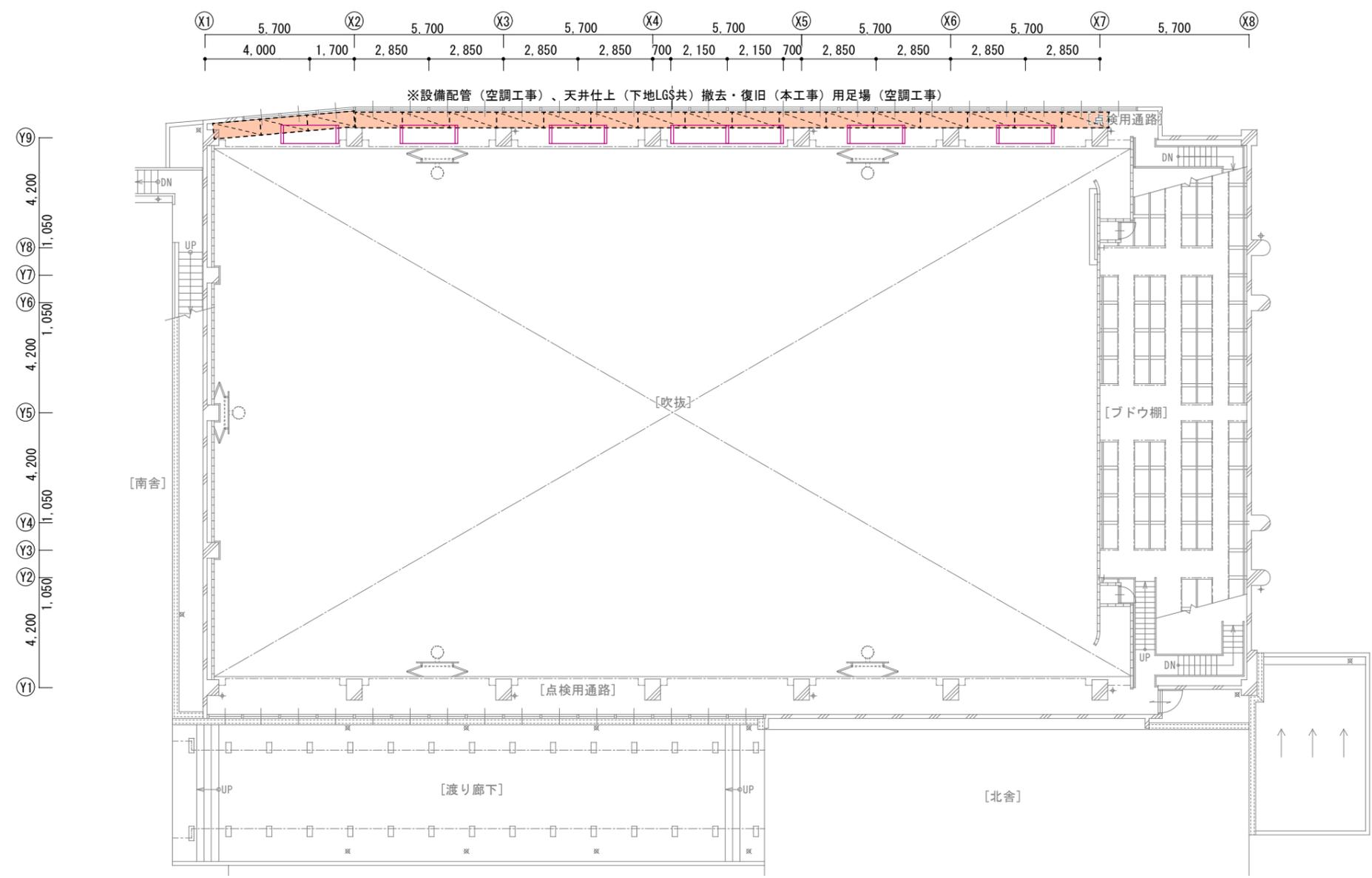
・本工事における屋外足場設置工事は、空調工事受注者にて設置する (平面図による)
 ・工事車両駐車場は、北舎と南舎の間 (東渡り廊下の西側) とし、北側は来校者駐車場とする
 ・別途工事の車両乗り入れもあるため、必要に応じて交通誘導員を配置すること



- : 床養生 (ブルーシート)、脚立足場 (本工事)
- : ローリング足場 (本工事) ※床養生含む
- : 室内機用吊架台設置 (本工事) ※1階上裏 (スラブ) からの吊ボルト、振止ボルト含む
防球ガード設置 (本工事)
上記詳細図は図番22 参照
室内機本体設置 (空調工事)

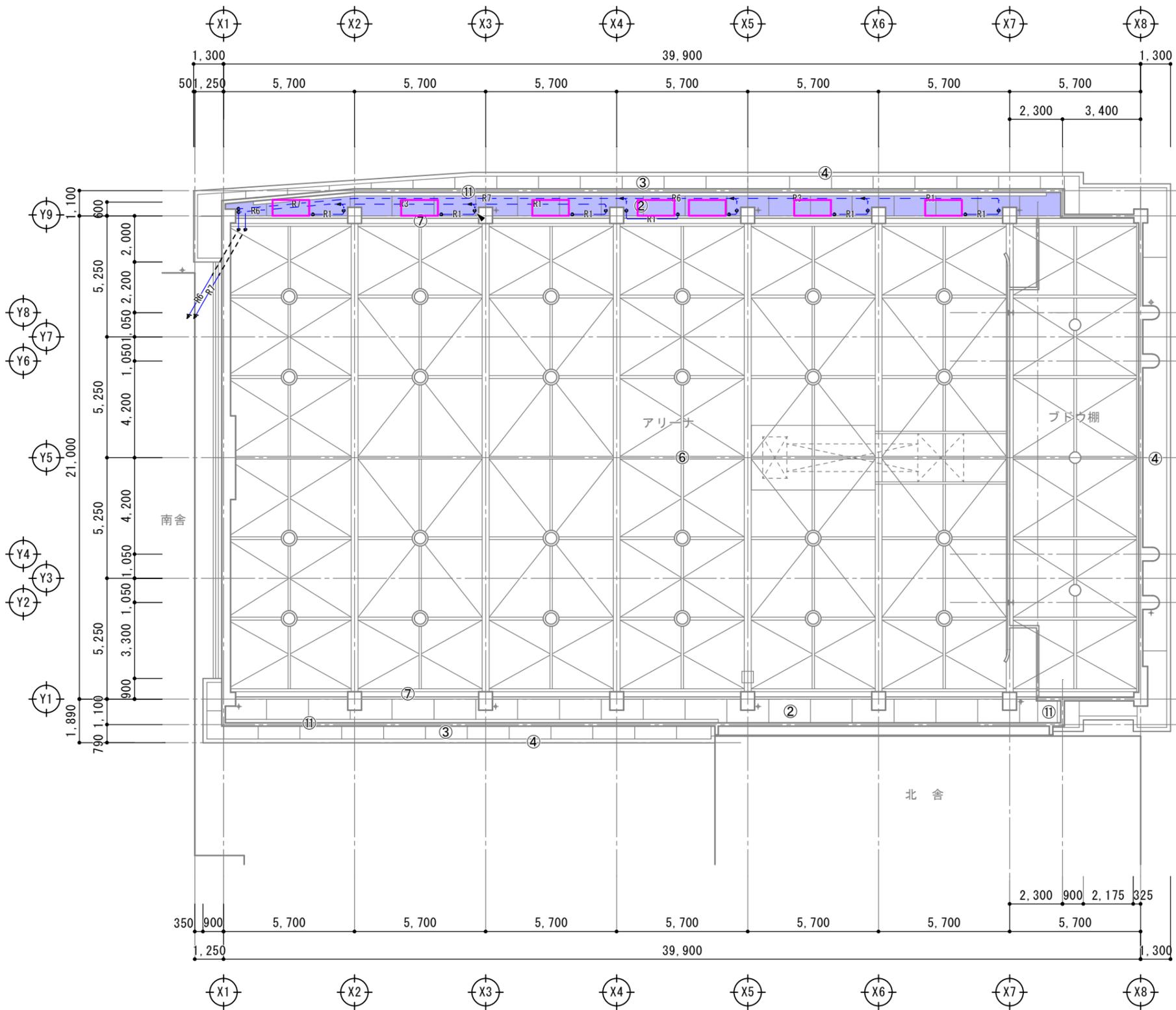
1階平面図 S=1:200

※本工事における1階足場の設置は本工事で行うこととし、点検用通路に設置する冷媒配管用足場は空調工事にて設置する。



点検用通路平面図 S=1:200

- : 足場設置 (空調工事)
 ※冷媒配管用の仕上 (下地LGS共) の撤去・復旧は本工事のため、空調工事にて設置した足場を利用して工事を行うこと。
- …室内機用架台設置 (本工事)
 ※点検通路に設置
 取付架台は詳細図 (図番20、21) 参照
 室内機本体設置 (空調工事)



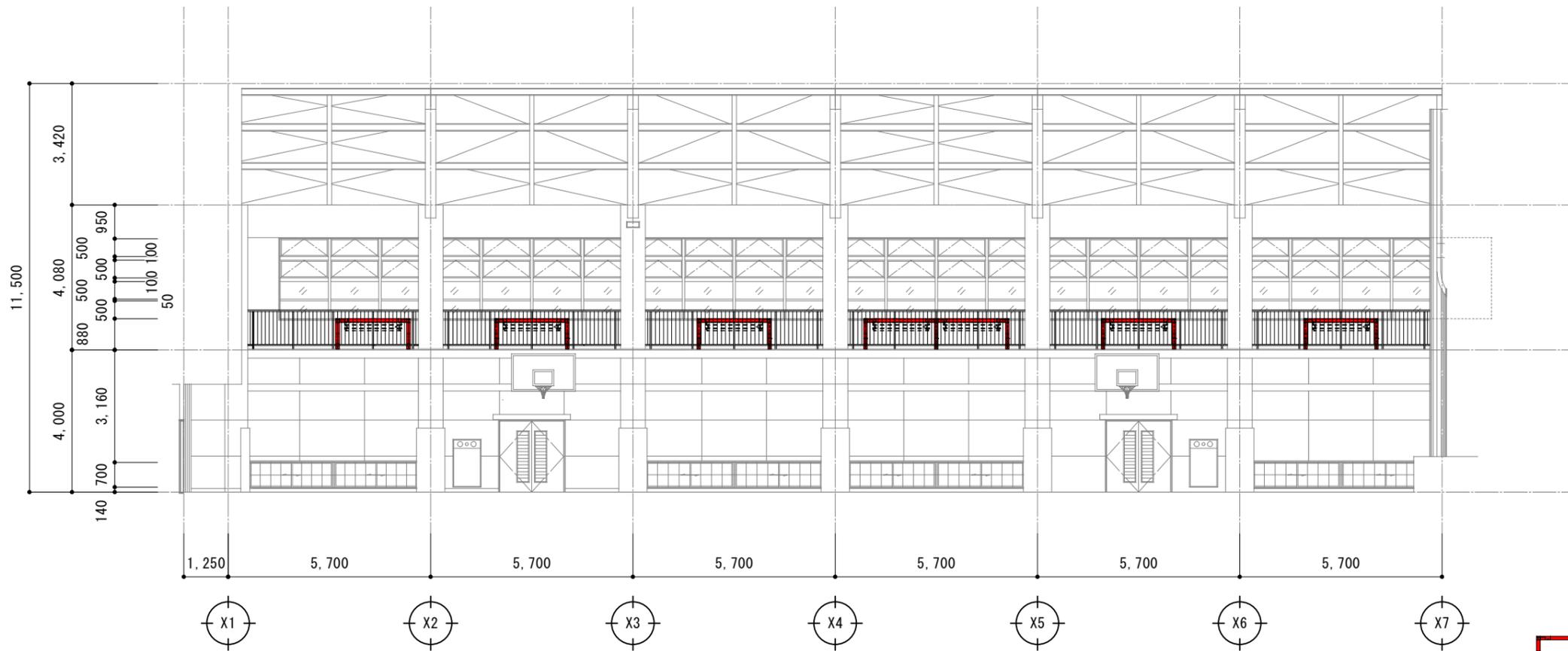
凡例 (既設)	
①	化粧フラスターボード t=9.0 塩ビ廻り縁
②	ケイカル板 t=6.0 目透かし貼 VE 塩ビ廻り縁
③	ケイカル板 t=10.0 目透かし貼 アクリルシン 塩ビ廻り縁
④	化粧型枠コンクリート打放し 目地切 アクリルシン吹付
⑤	鉄骨 ぶどう棚表し 鉄部SOP
⑥	鉄骨 耐火化粧野地板表し 鉄部SOP
⑦	化粧型枠コンクリート打放し 内部吹付タイル
⑧	シナ合板 t=9.0 目透かし貼 SOP
⑨	欠番
⑩	シナ合板 t=4.0 SOP
⑪	カーテンボックス 180×150 SOP
⑫	アクリルシン吹付
⑬	ラスモル刷毛引 アクリルシン吹付

□ : アスベスト含有材 (コンクリート・モルタル面下地調整材)

- : 点検通路内 室内機用架台設置 (本工事)
- - - : 天井内冷媒配管 (空調工事)
- : 床・壁露出冷媒配管 (空調工事)
- : 既設: ケイカル板 t=6.0 目透かし貼 VE 撤去 (軽量鉄骨下地、塩ビ廻り縁共)
 新設: ケイカル板 t=6.0 目透かし貼 EP 軽量下地鉄骨、塩ビ廻り縁共
 ※本工事にて解体を行う仕上げ材はアスベスト非含有

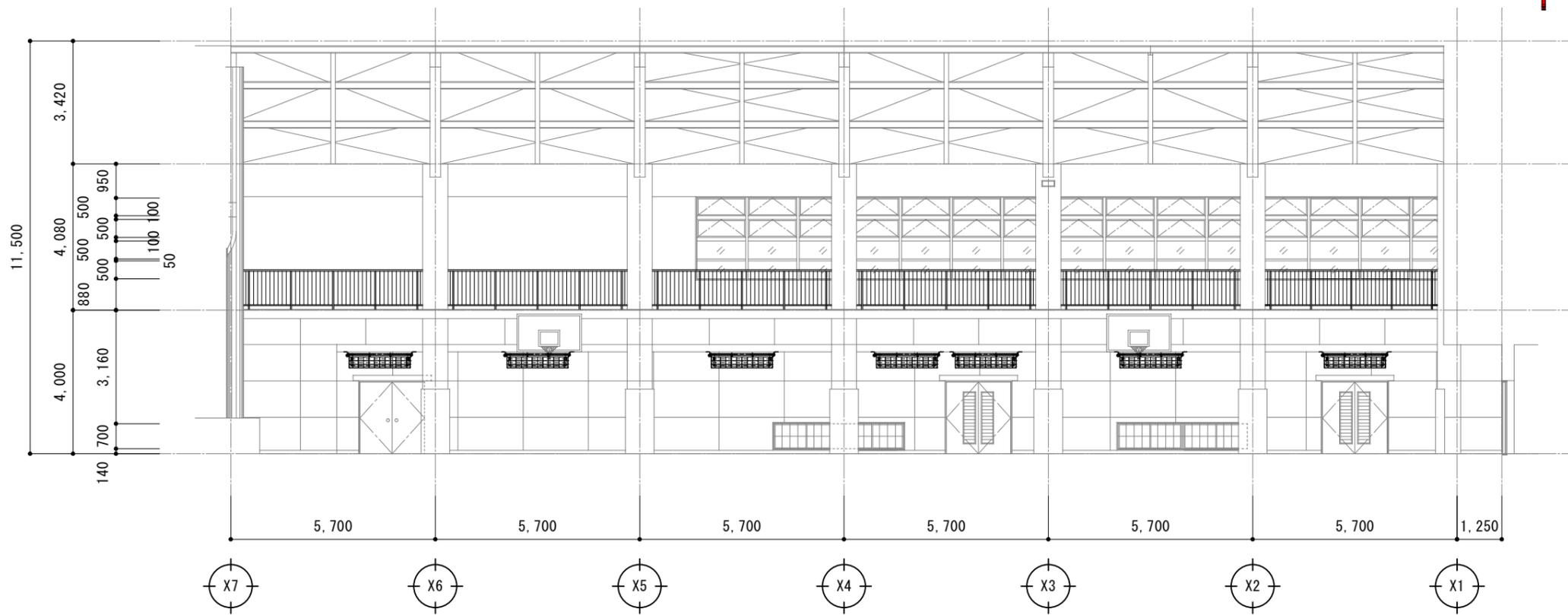
1階天井伏図 S=1:200

2階天井仕上げ材の解体・復旧については、空調工事にて単管足場を設置し、解体・復旧を行うものとする。床養生も合わせて空調工事とする。



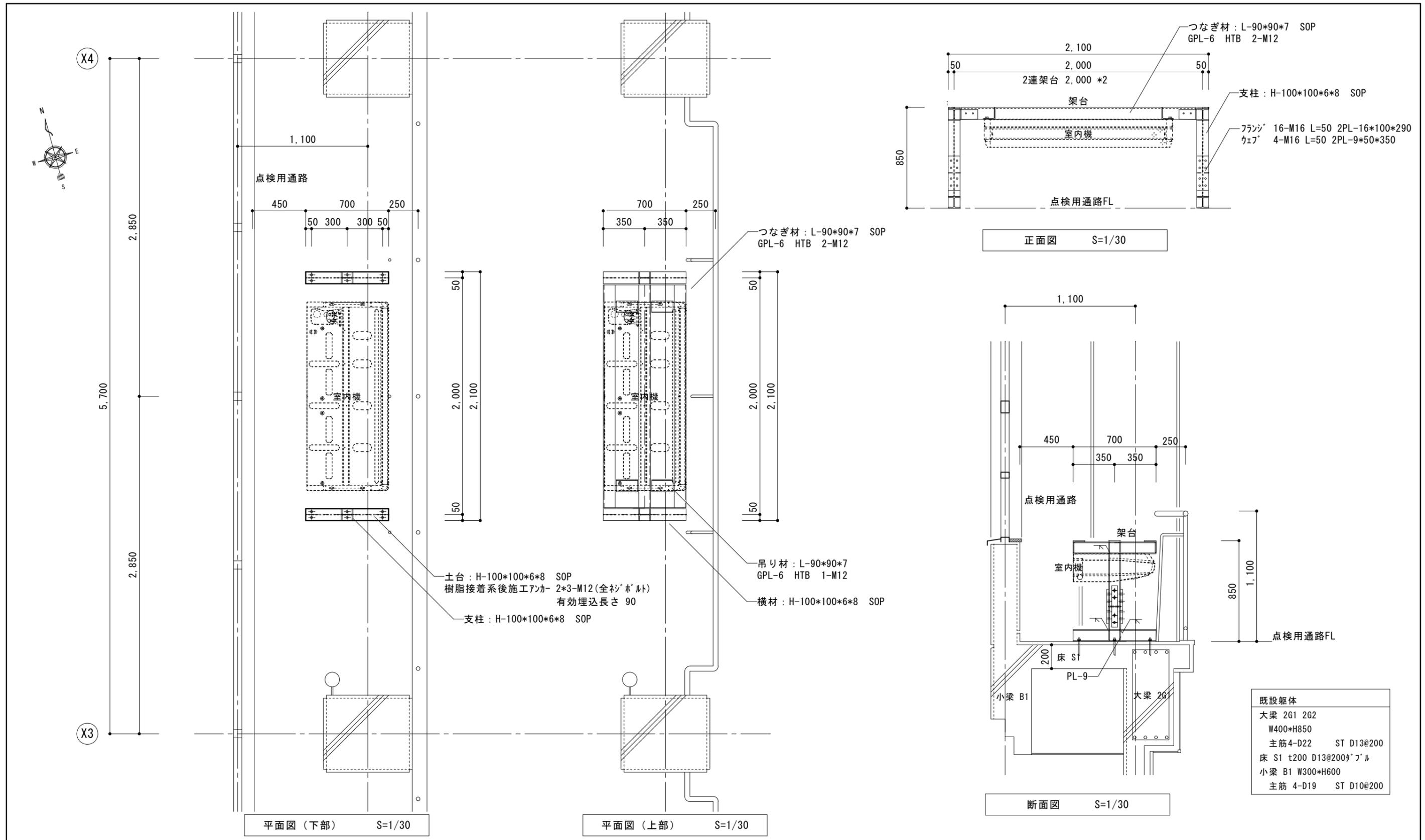
アリーナ西側展開図 S=1:150

-  : 室内機用架台 単独架台5台 W2100×D700×H850
(点検用通路の手摺内側に設置)
-  : 室内機用架台 2連架台 1台 W4100×D700×H850
(点検用通路の手摺内側に設置)
- ※上記空調機本体は空調工事にて取付



アリーナ東側展開図 S=1:150

-  : 室内機用吊架台 7台 W2000×D800×H450
※上記空調機本体は空調工事にて取付

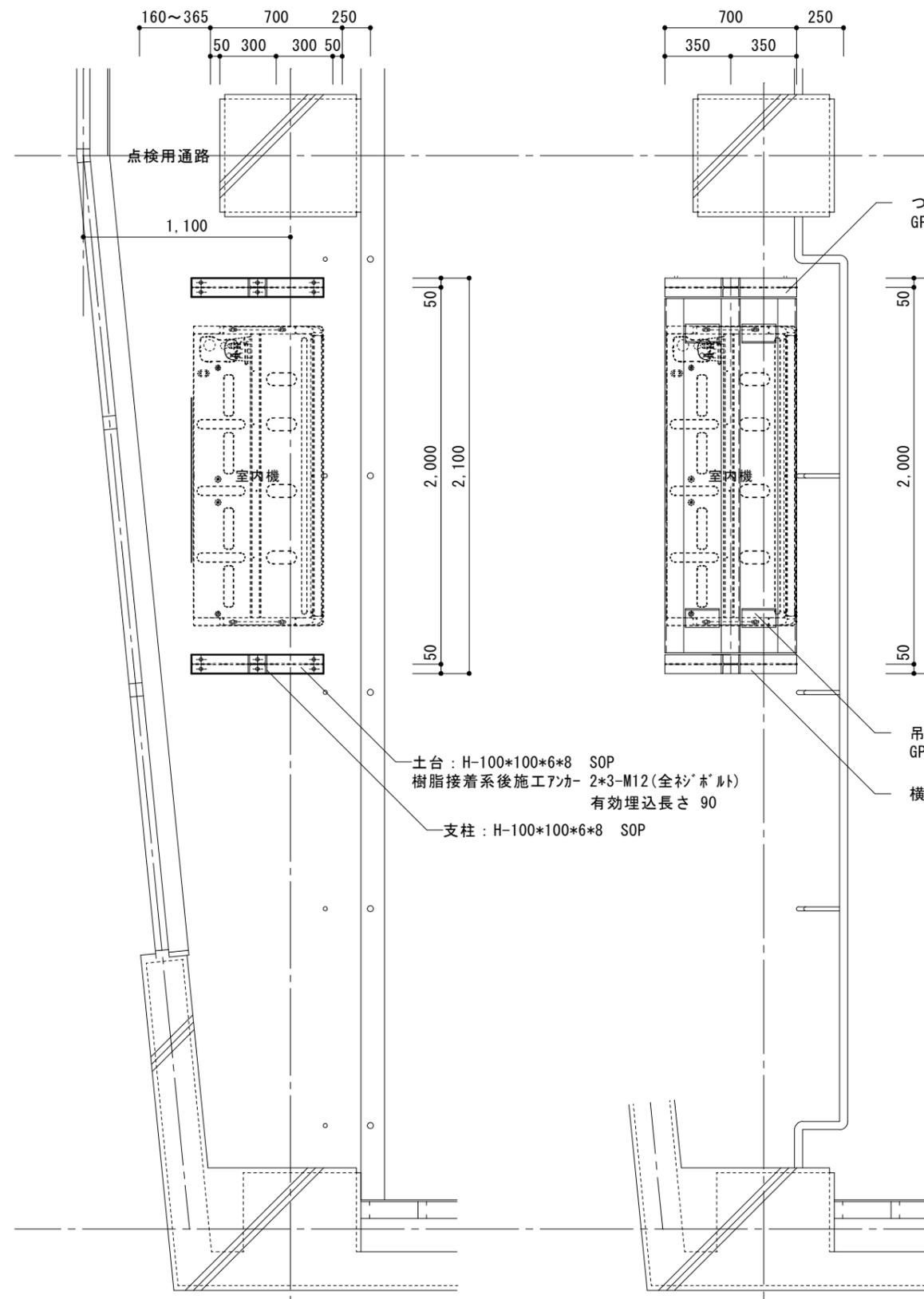


鋼材	SS400		※架台台数 単独架台 5台 2連架台 1台
HTB	S10T		※室内機本体設置は別途工事（空調工事）
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする 穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400		
塗装	鉄部 SOP		



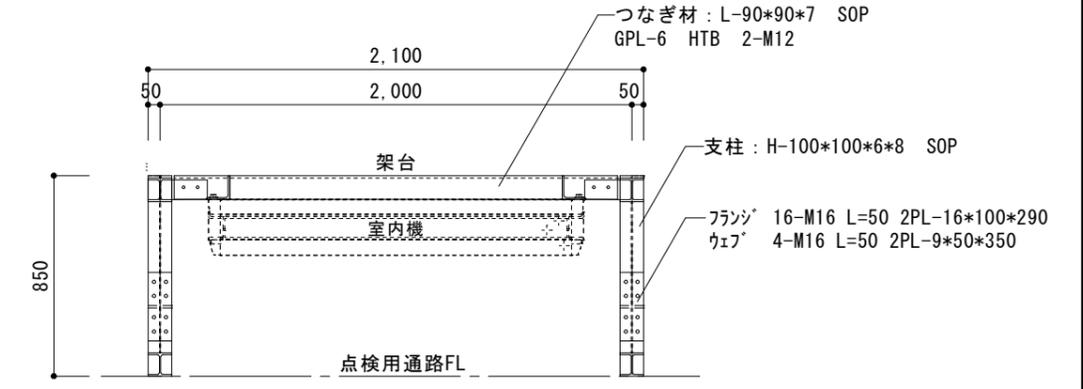
②

①

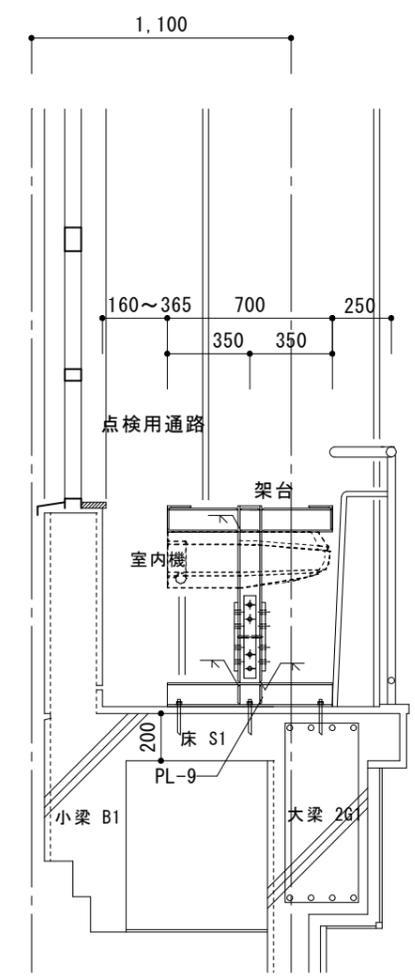


平面図 (下部) S=1/30

平面図 (上部) S=1/30

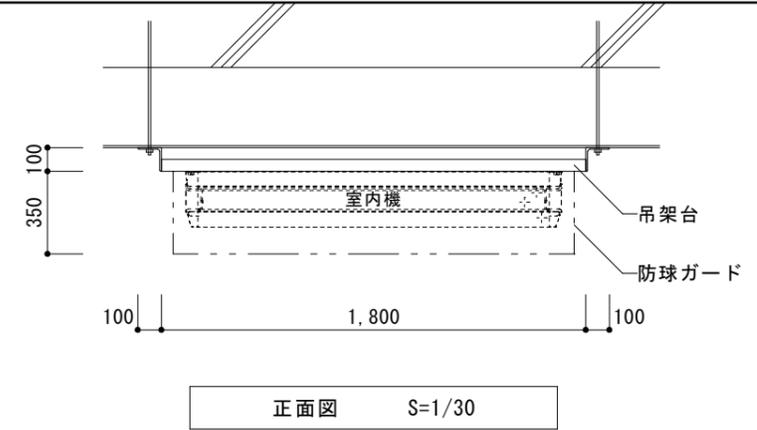
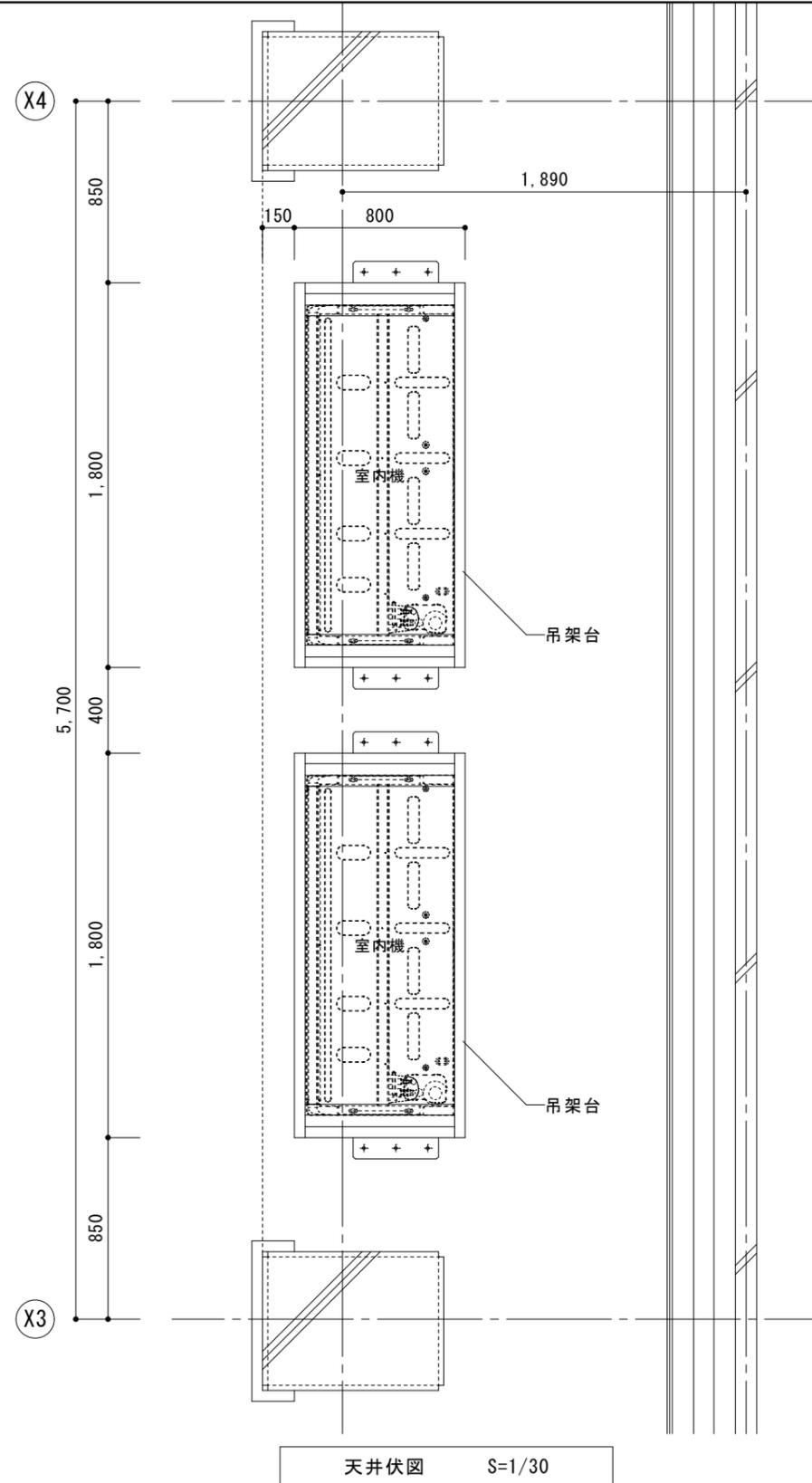


正面図 S=1/30

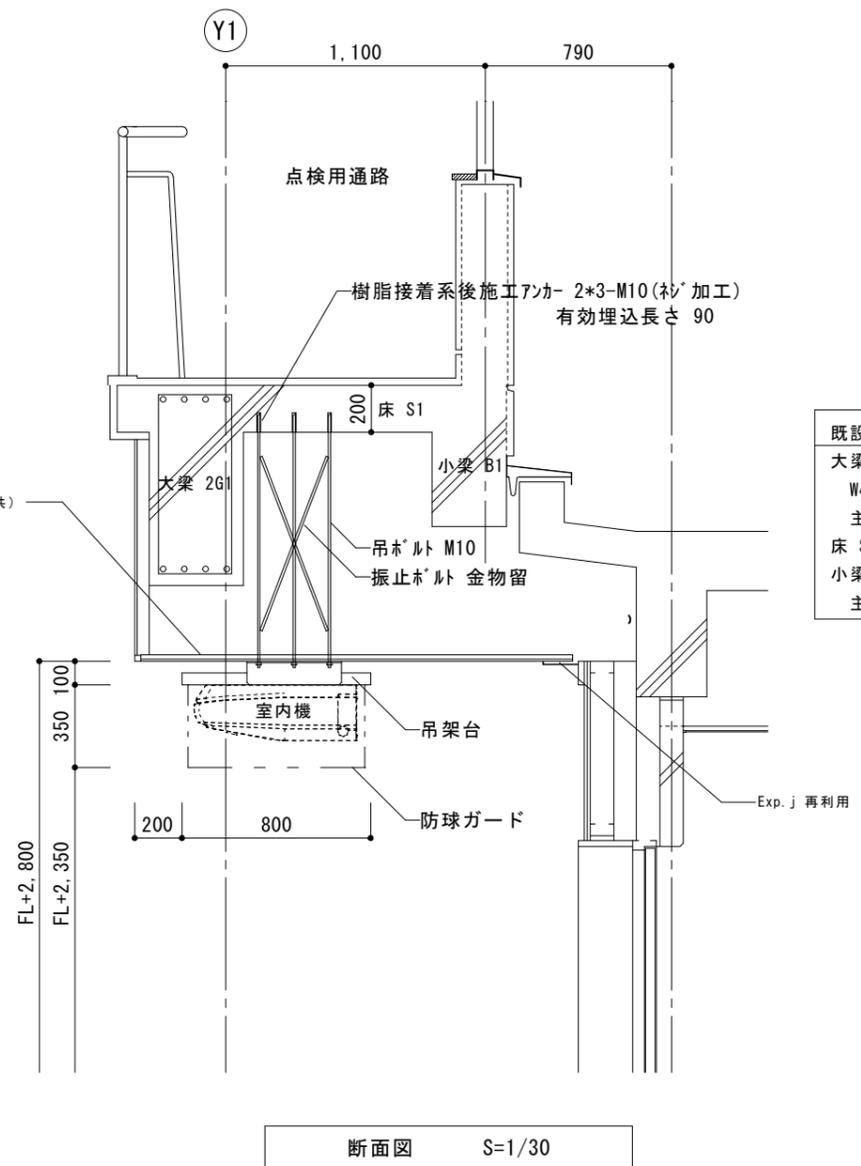


断面図 S=1/30

既設躯体	
大梁 2G1 2G2	
W400*H850	
主筋 4-D22	ST D13@200
床 S1 t200	D13@200φ
小梁 B1	W300*H600
主筋 4-D19	ST D10@200



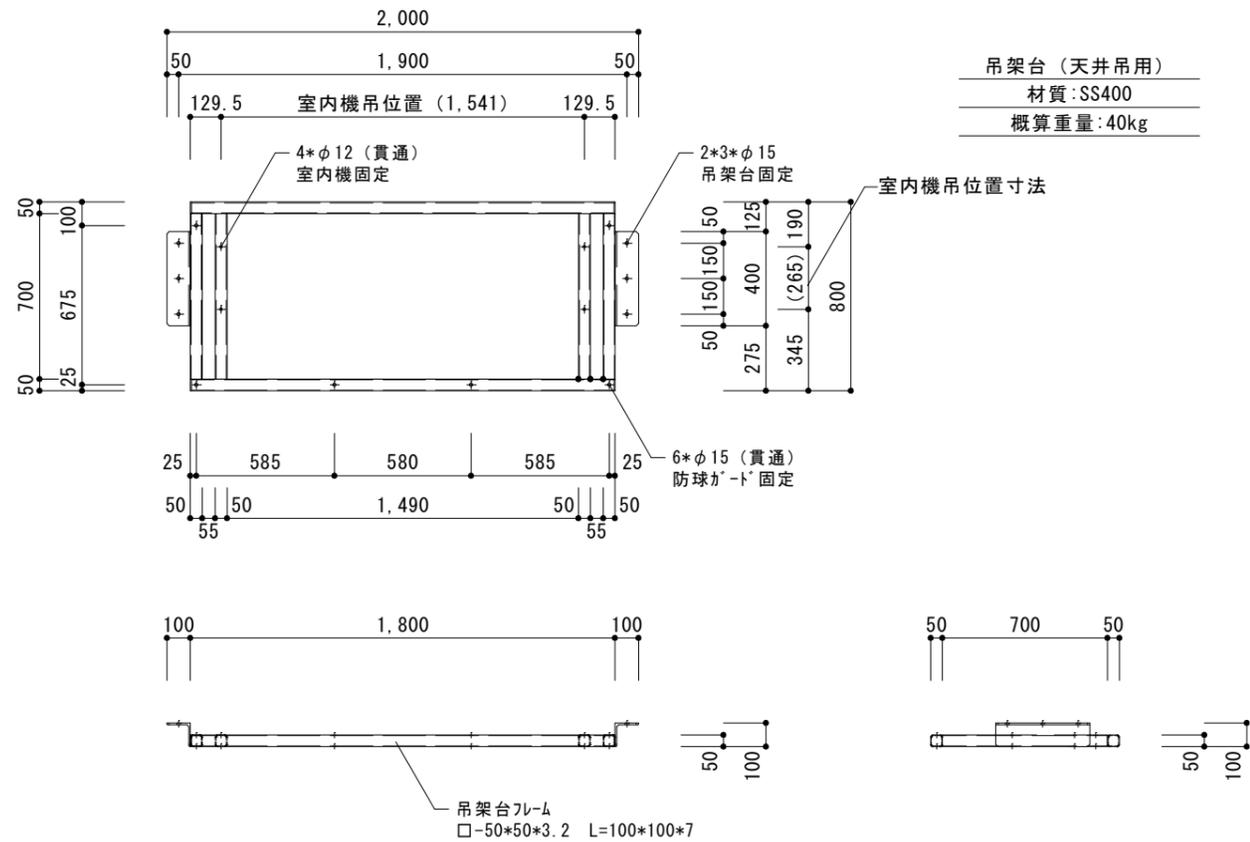
既設シナ合板撤去 (天井LGS、廻り縁共)
 新設: シナ合板t=9.0 SOP 目透かし貼
 天井LGS、塩ビ廻り縁新設共



既設躯体	
大梁 2G1 2G2	W400*H850
主筋 4-D22	ST D13@200
床 S1	t200 D13@200φ'フル
小梁 B1	W300*H600
主筋 4-D19	ST D10@200

鋼材	SS400		※吊架台台数 7台
吊ボルト	両端杉'加工 鍍金製 SS400		※室内機本体設置は別途工事 (空調工事)
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする 穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
塗装	吊架台鉄部 ホ'リエステル樹脂粉体塗装		
防球ガード鋼線	SS400 杉'リ六角鋼M5加工 ホ'リエステル樹脂粉体塗装		

設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	設計年度 令和7年	工事名称 東小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置 (建築) 工事	図名 (安井小) 室内機架台詳細図 (3)	図番 22 / 28
--	--------------	-------------------------------------	--------------------------	---------------



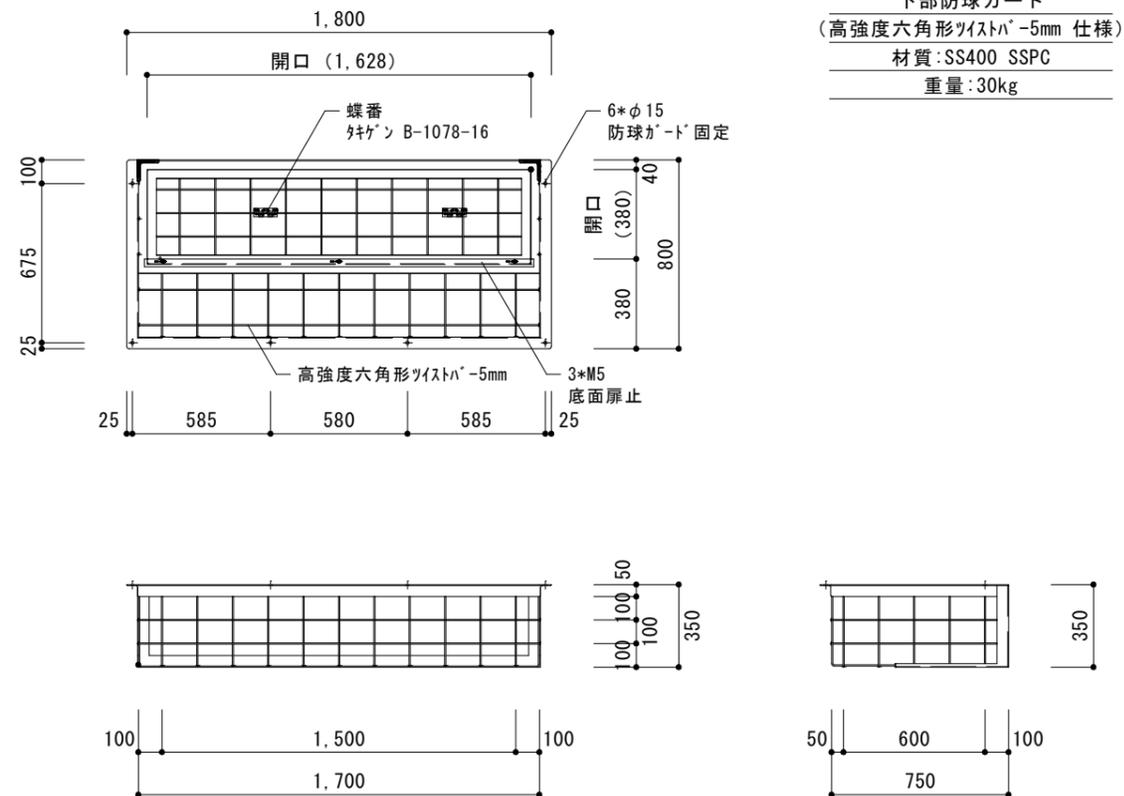
吊架台 (天井吊用)
材質:SS400
概算重量:40kg

室内機吊位置寸法

吊架台フレーム
□-50*50*3.2 L=100*100*7

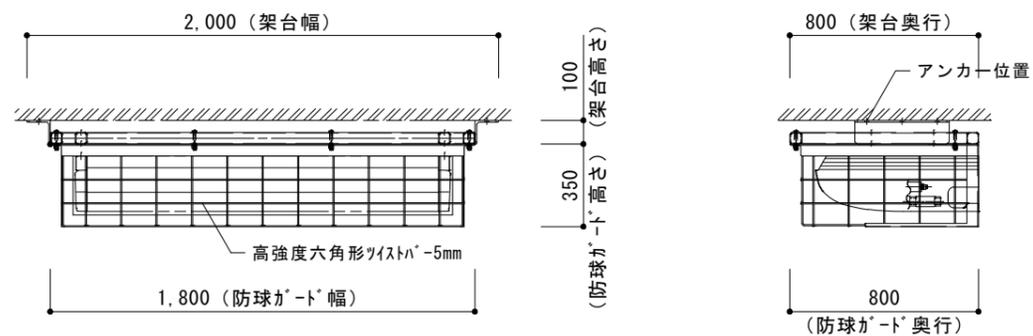
※室外機の吊位置については、別途空調工事の受注者と調整を行うこと

吊架台 (天井吊用) 詳細図 S=1/30



下部防球ガード
(高強度六角形ツイストハ[®]-5mm 仕様)
材質:SS400 SSPC
重量:30kg

下部防球ガード詳細図 S=1/30



正面姿図 S=1/30

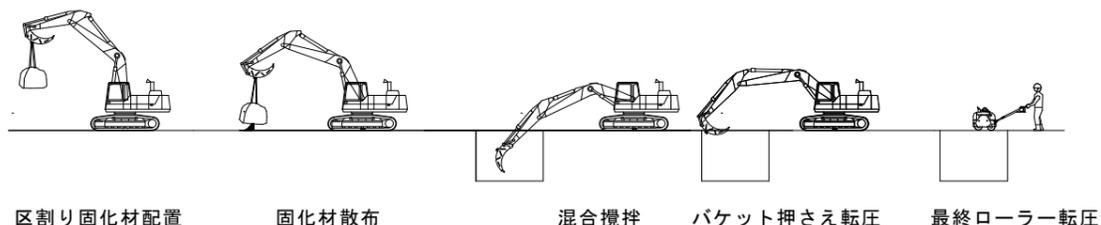
側面姿図 S=1/30

鋼材	SS400		※室内機本体設置は別途工事 (空調工事)
塗装	吊架台鉄部 ホ [®] リエステル樹脂粉体塗装		※配管用ガード SS400 3x六角鋼M5加工 ホ [®] リエステル樹脂粉体塗装
防球ガード鋼線	SS400 3x六角鋼M5加工 ホ [®] リエステル樹脂粉体塗装		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
	※機宝機材 同等品以上		

表層改良工法特記仕様書

1 工事概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材とをバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



※施工状況によってはバケット押さえ転圧のみとなる。

2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(財)日本建築センター)による。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容(改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等)
- (2) 工程表
- (3) 施工方法(仕様固化材、配合量等)
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図書による。
- (2) 改良体の設計基準強度: $F_c=300\text{kN/m}^2$
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4. 配合管理

(1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム溶出抑制タイプのセメント系固化材とする。

$$F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf} \quad F_c : \text{設計基準強度 (kN/m}^2\text{)}$$

$$q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot V) \quad m : \text{相関係数} = 1.3$$

$$q_{ul} = q_{uf} / d_1 \quad V : \text{変動係数} = 0.45$$

$$d_1 : \text{現場/室内強さ比(表-1)}$$

表1 (現場/室内) 強さ比の一例

固化材の添加形式	改良対象土	攪拌方法	(現場/室内)強度比
粉体	軟弱土	スタビライザ	0.5~0.8
		バックホウ	0.3~0.7

$$q_{ul} = \{300 / (1 - 1.3 \times 0.45)\} / 0.5 = 1450\text{kN/m}^2$$

推定配合量 80kg/m³ (最終的には配合試験により決定する)

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工
 - 改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良材を散布する。
 - 混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
 - 改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
 - 施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
 - 施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

施工過程における管理方法は次の通りとする。

- (1) 固化材散布量
 - マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
- (2) 改良厚さ
 - 混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
- (3) 混合程度
 - 固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

8 報告

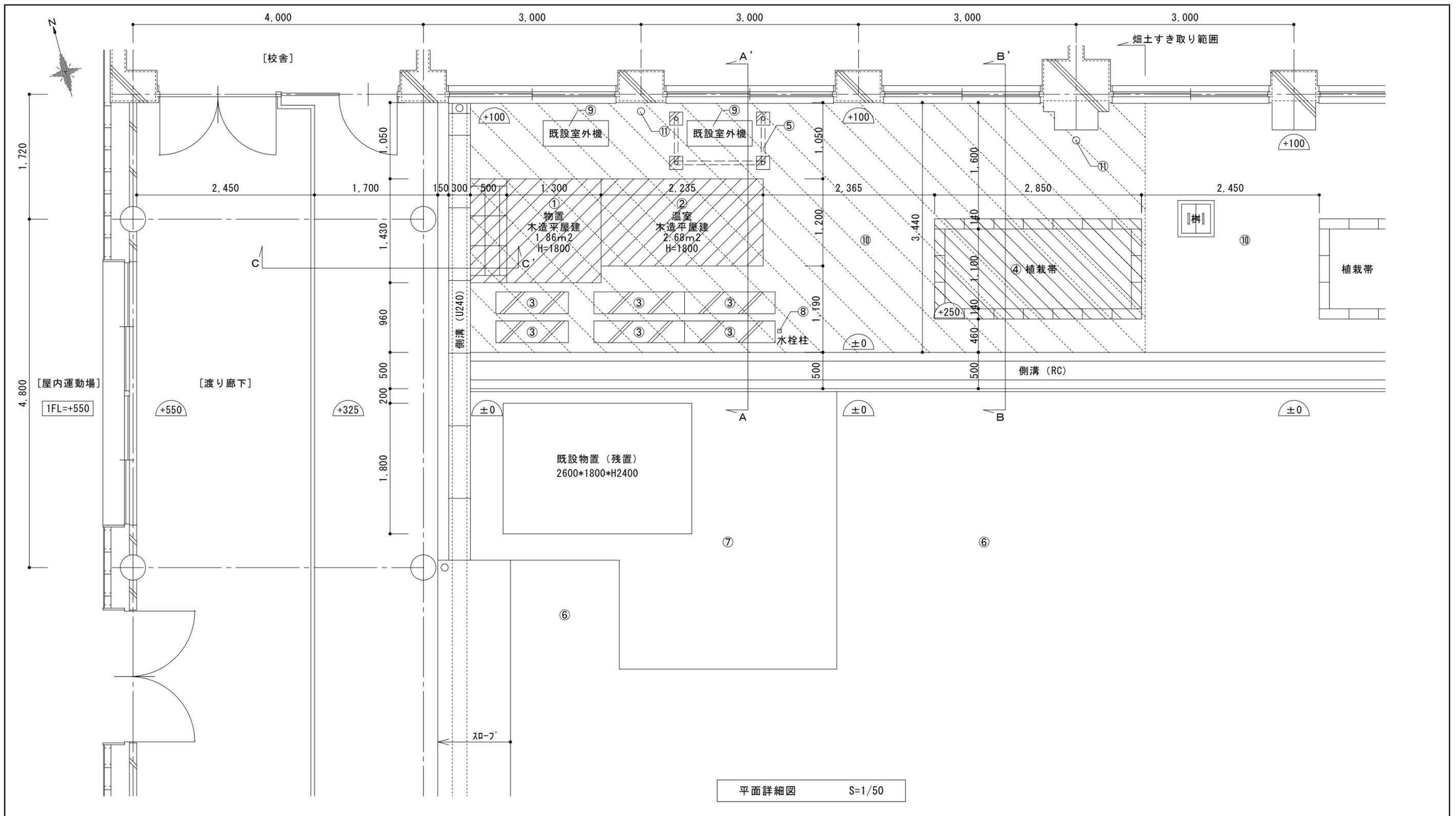
工事完了後、次の事項について報告書をまとめて2部を監督員に提出する。

- (1) 施工日報(改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等)
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
- (3) 管理試験結果

9 管理試験

- (1) 施工日報(改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等)

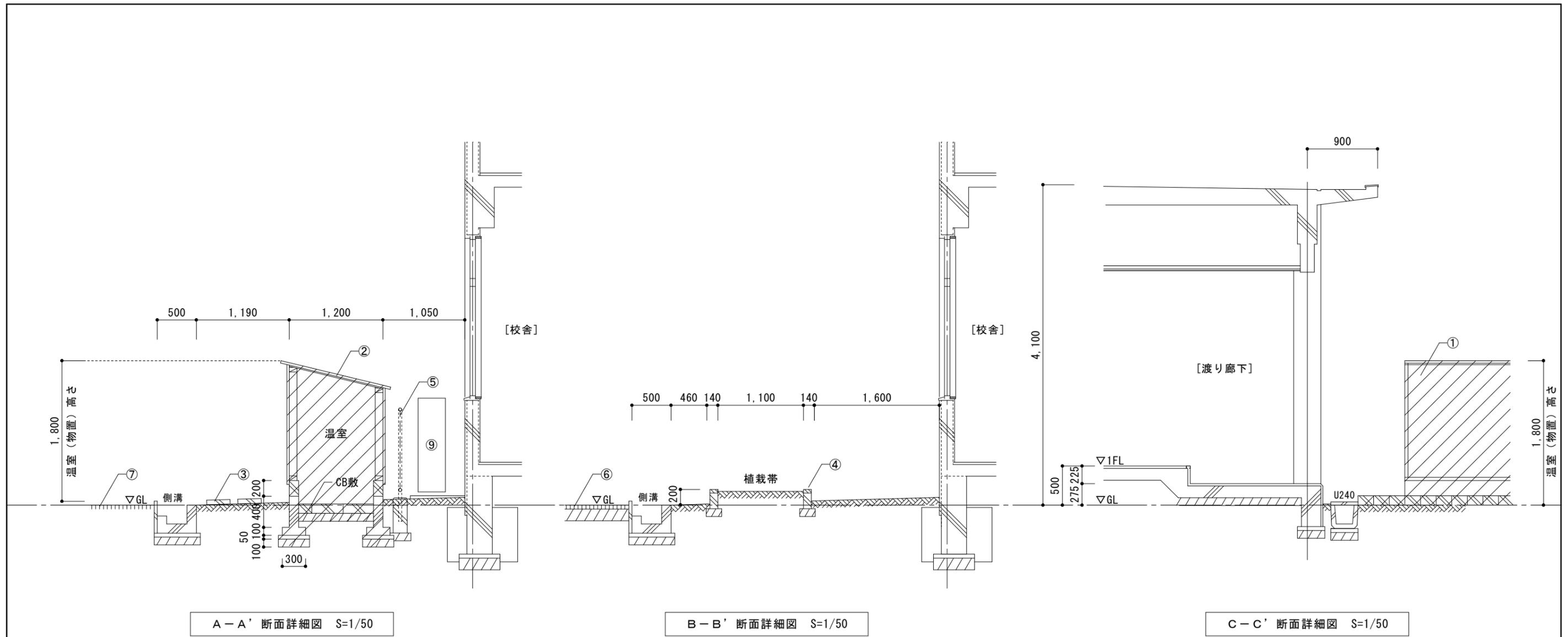
- 1) 現場採取供試体
 - 3ヶ所から改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
 - 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
- 配合計画段階で六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計画説明書)を提出する。試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土壌の六価クロム溶出試験(環境庁第46号(土壌汚染に係る環境基準)による。)
- 検査攪拌数、検査攪拌層、基準値は下記のものとする。
- | | |
|-----|-----------------|
| 検体数 | 1検体 |
| 対象層 | 設計対象層 盛土層(粘性土) |
| 基準値 | 0.05(mg/リットル)以下 |



平面詳細図 S=1/50

凡例

符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位
①		物置 木造平屋建て 屋根・壁 (樹脂製波板張)	撤去	1.86	m ²	⑥		アスファルト舗装t50	既設			⑪		縦樋VP100 養生管SP125 雨水排水管VP100 地中埋設	地中埋設管撤去	10.0	m
②		温室 木造平屋建て 屋根・壁 (樹脂製波板張)	撤去	2.68	m ²	⑦		砂利敷	既設								
③		コンクリート側溝蓋 W300*t50	撤去	6	ヶ所	⑧		水栓柱	撤去 (別途空調工事)	1	ヶ所						
④		植栽帯 化粧ブロック積 H250	撤去	3.93	m ²	⑨		既設室外機	取外保管 (別途空調工事)	2	台						
⑤		ネットフェンス H1150、ブロック基礎 180*180*H450	撤去	2.42	m	⑩		畑土	鋤取りt300	32.0	m ²						

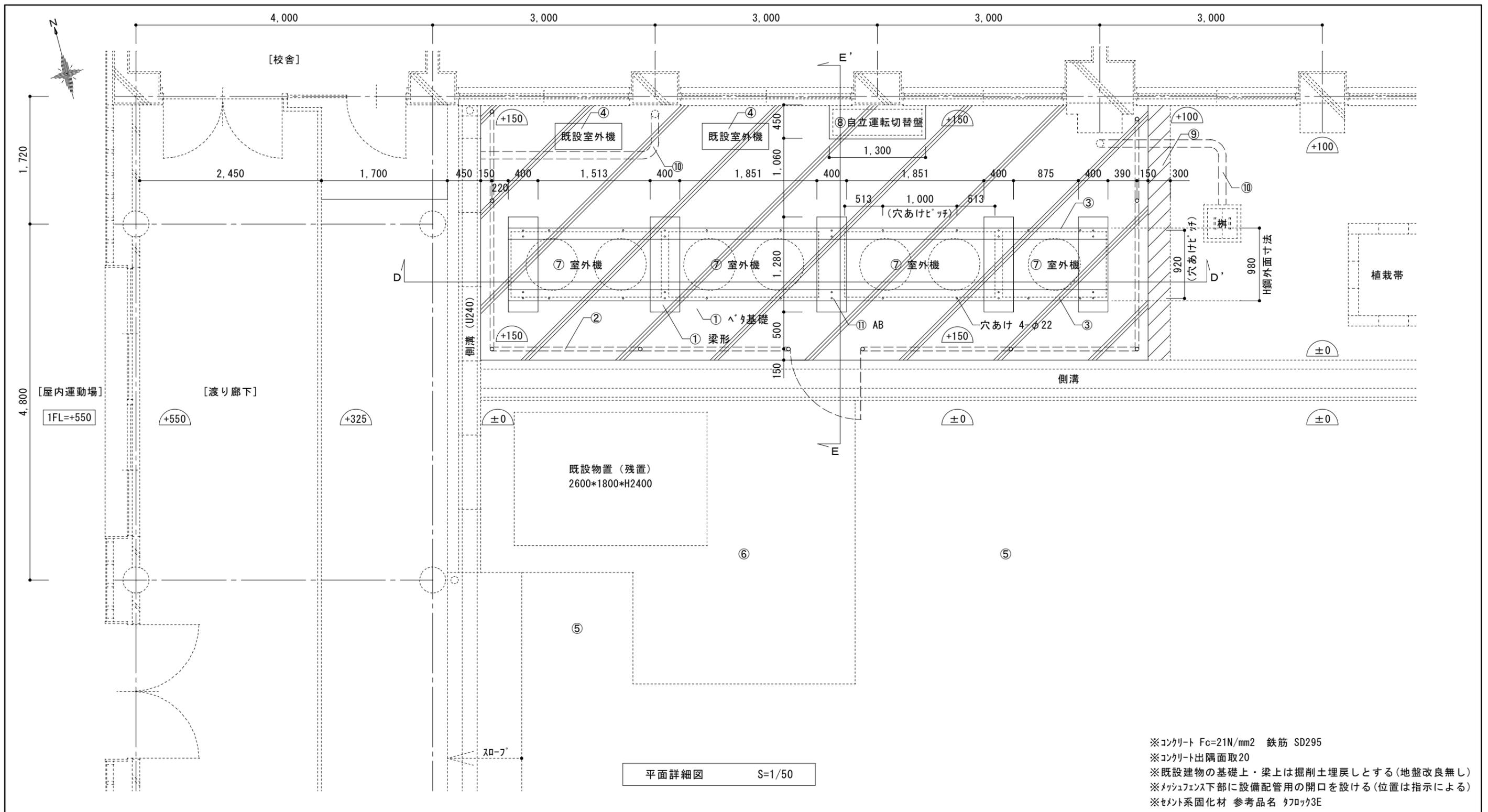


A - A' 断面詳細図 S=1/50

B - B' 断面詳細図 S=1/50

C - C' 断面詳細図 S=1/50

凡例																	
符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位
①		物置 木造平屋建て 屋根・壁 (樹脂製波板張)	撤去	1.86	m ²	⑥		アスファルト舗装 t50	既設			⑪		縦樋VP100 養生管SP125 雨水排水管VP100 地中埋設	地中埋設撤去	10.0	m
②		温室 木造平屋建て 屋根・壁 (樹脂製波板張)	撤去	2.68	m ²	⑦		砂利敷	既設								
③		コンクリート側溝蓋 W300*t50	撤去	6	ヶ所	⑧		水栓柱	撤去 (別途空調工事)	1	ヶ所						
④		植栽帯 化粧ブロック積 H250	撤去	3.93	m ²	⑨		既設室外機	取外保管 (別途空調工事)	2	台						
⑤		ネットフェンス H1150、ブロック基礎 180*180*H450	撤去	2.42	m	⑩		畑土	鋤取り t300	32.0	m ²						



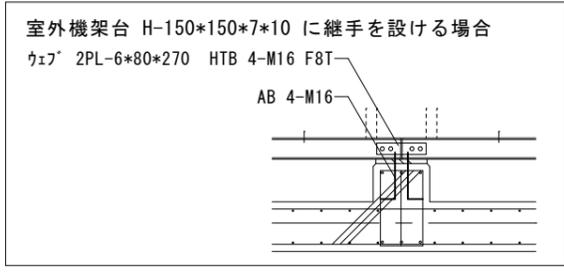
平面詳細図 S=1/50

※コンクリート Fc=21N/mm² 鉄筋 SD295
 ※コンクリート出隅面取20
 ※既設建物の基礎・梁上は掘削土埋戻しとする(地盤改良無し)
 ※メッシュフェンス下部に設備配管用の開口を設ける(位置は指示による)
 ※セメント系固化材 参考品名 タロック3E

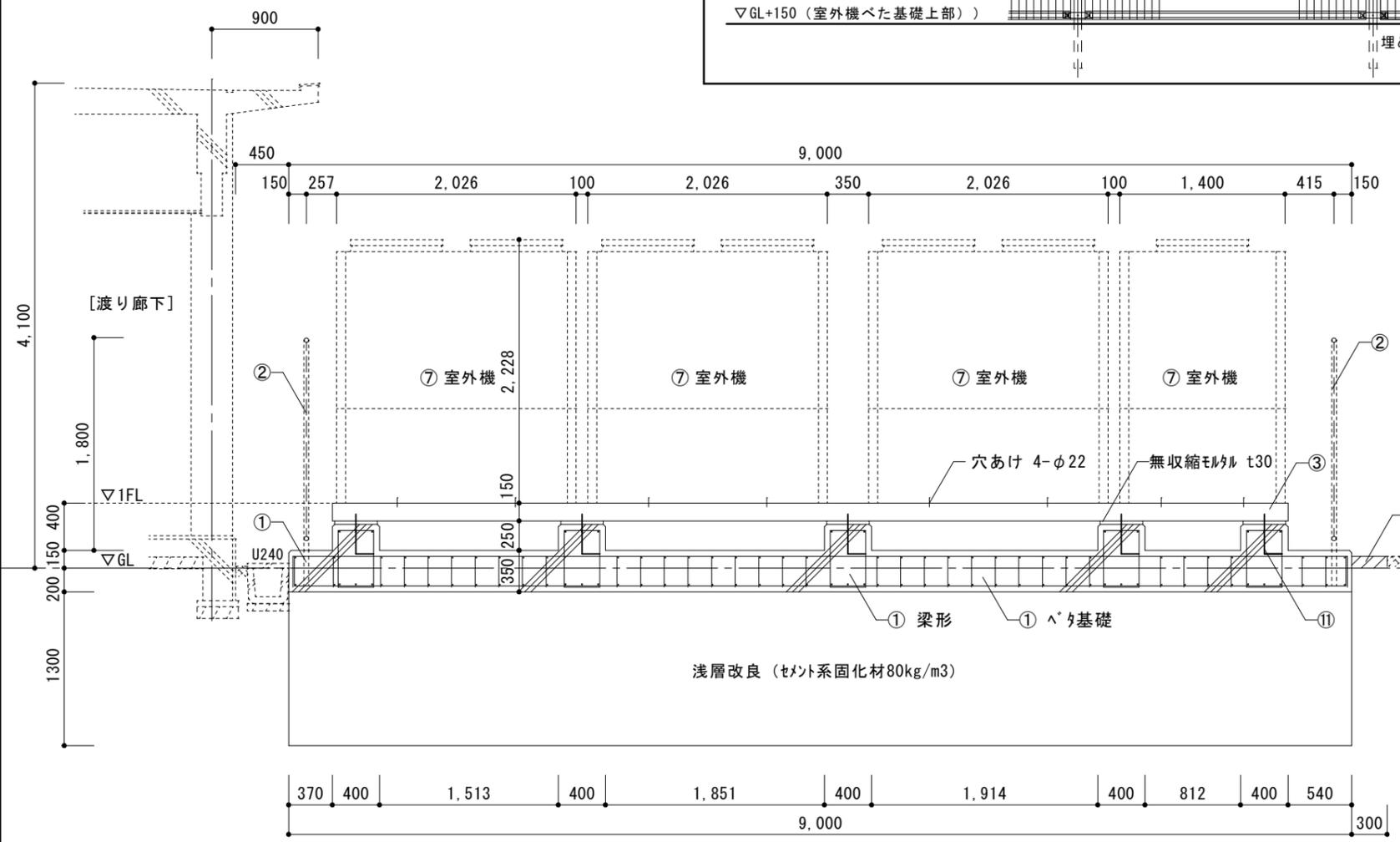
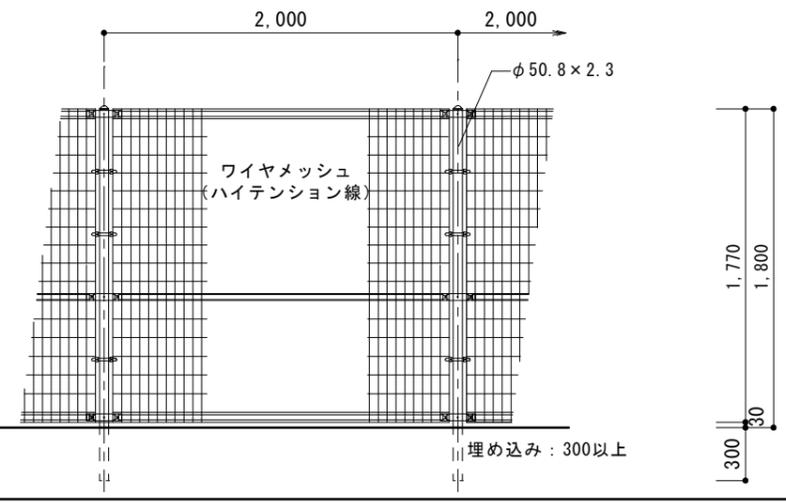
凡例

符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①	//	コンクリート基礎 べた基礎部 t350 鉄筋D10@200クロスアップル	30.9	m ²	⑤	⑥	アスファルト舗装 t50 (既設)			⑩	⑪	雨水排水管VP125 樹・側溝に接続(べた基礎・地中埋設) 既設壁樋部にて立上接続(排水管がハ)	6.0	m
		梁形部 上下主筋 3-D13 ST D10@200	6	ヶ所			砂利敷 (既設)					AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所
②	=	新設 メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日スチール工業(株) ユニフェンス)	15.0	m	⑦	⑧	新設 室外機 (別途空調工事)	4	台	⑨	⑨	新設 自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台
		片開きフェンス扉 W1000 回転施錠+南京錠	1	ヶ所			良質土埋戻し	1.03	m ²					
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB用穴あけ 室外機固定用穴あけ	2	ヶ所										
④		既設 室外機再設置 (別途空調工事) ※既設タイガーベース再利用	2	台										

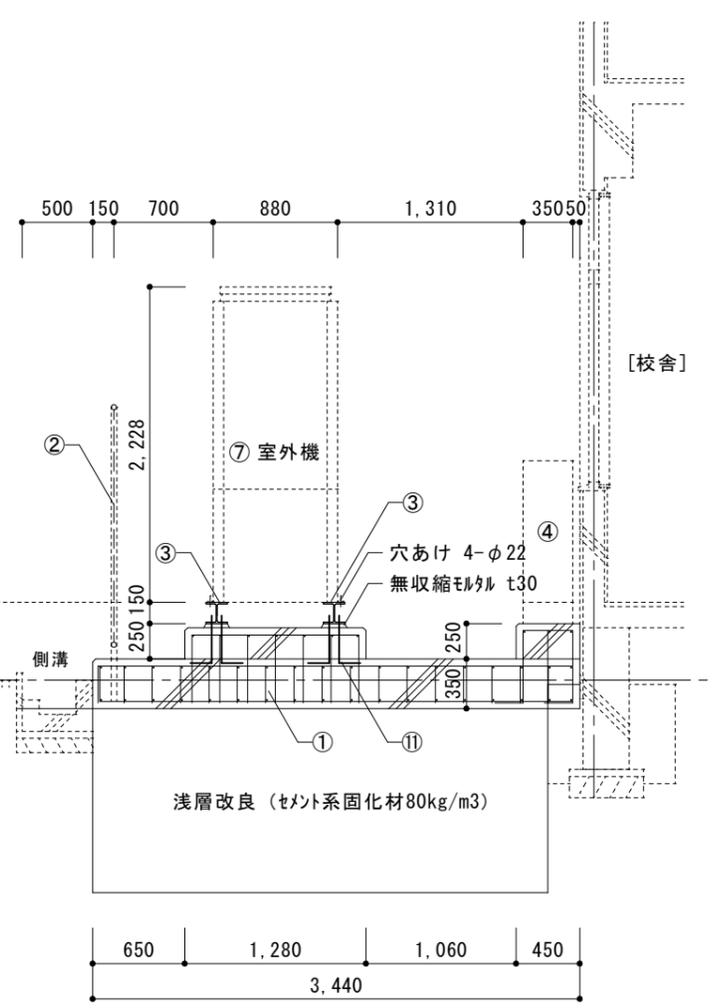
※③の室外機固定用穴あけ位置については、空調工事業者との協議による



ネットフェンス詳細図 S=1:40



D-D' 断面詳細図 S=1/50



E-E' 断面詳細図 S=1/50

凡例	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①	//		コンクリート基礎 へた基礎部 t350 鉄筋D10@200クロスアップル	30.9	m ²	⑤		アスファルト舗装 t50 (既設)			⑩		雨水排水管VP125 樹・側溝に接続(へた基礎・地中埋設) 既設壁樋部にて立上接続(排水管がへた)	6.0	m
			梁形部 上下端筋 3-D13 ST D10@200	6	ヶ所	⑥		砂利敷 (既設)			⑪		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所
②	=〇=		新設 メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日スチール工業(株) エフェンス)	15.0	m	⑦		新設 室外機 (別途空調工事)	4	台					
			片開きフェンス扉 W1000 回転錠+南京錠	1	ヶ所	⑧		新設 自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台					
③			室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB用穴あけ 室外機固定用穴あけ	2	ヶ所	⑨	//	良質土埋戻し	1.03	m ²					
④			既設 室外機再設置 (別途空調工事) ※既設タコへへへへ再利用	2	台										